

## 令和2年度 市内遺跡

---

確認・試掘調査 緊急発掘調査報告

2021

高崎市教育委員会

## 序 文

高崎市は、古来より関東と信越をつなぐ交通の要衝に位置する人口約37万2千人の中核市です。

令和2年3月には、高崎市吉井町の多胡郡正倉跡が新たに国指定史跡に指定されました。法倉と推定される絶瓦葺の莊嚴な礎石建物は、全国の官衙遺跡でも有数の規模を誇ります。多胡郡正倉跡は、平成29年10月にユネスコ「世界の記憶」に登録された上野三碑のひとつ、多胡碑に記された碑文の内容と関連した遺構として広く注目されています。この登録を契機に、本市の持つ文化財の価値が日本国内はもちろんより世界に広く知られることを期待します。

埋蔵文化財の保護では、各種開発事業により貴重な遺跡が失われないよう、事前に遺跡の確認・試掘調査実施に努めています。本報告書は、令和2年度に行った調査をまとめたものです。結びに、本遺跡の発掘調査および報告書刊行にあたりご協力をいただきました関係機関ならびに関係者の皆様に心から感謝申し上げ、序といたします。

令和3年3月

高崎市教育委員会

教育長 飯野 真幸

## 例 言

- 1 本書は令和2年度国庫補助事業として確認・試掘調査を実施した市内遺跡報告書である。
- 2 事業期間は令和2年4月1日～令和3年3月31日までであるが、編集の都合上、令和2年12月31日までの調査分を掲載対象とした。
- 3 調査組織は以下のとおりである。 高崎市教育委員会文化財保護課埋蔵文化財担当  
課長 角田真也  
事務担当 課長補佐 神澤久幸 滝沢匡 小暮里江 岡田清香 関口芳治  
調査担当 課長補佐 清水農 相京建史 伊藤肇 滝沢匡 山本ジェームズ  
大野義人 南雲博文 小根沢雪江
- 4 調査にかかる経費は、令和2年度国宝重要文化財等保存整備費補助金および高崎市費をもって負担した。
- 5 本書の編集・執筆は清水が行った。なお、4-(2) 本郷塙中古墳群は、清水と山本が協議し編集・執筆を行った。
- 6 調査一覧表および調査場所位置図には、令和2年12月31日にまでに実施したすべての確認・試掘調査を実施した。なお、令和3年1月1日～3月31日までに実施した同事業実績は、来年度報告に掲載を予定し、本書には前年度（令和2年1月1日～3月31日）に実施した調査を掲載している。
- 7 確認・試掘調査の概要については、その後の協議で現状保存となった遺跡のうち特筆すべきものを抽出し掲載した。従って、記録保存を目的とした本調査に伴う発掘調査報告は、今後刊行される本報告書に譲りたい。
- 8 調査記録および出土品については、高崎市教育委員会で管理している。

## 凡 例

- 1 本書に使用した地図は、国土地理院発行 1/50000地形図および、1/2500高崎市都市計画基本図で、それぞれ縮尺を任意に変更し使用した。
- 2 確認・試掘調査の北方向は、「磁北」を示している。
- 3 本書図中の国版縮尺は各図に表示した。
- 4 本書中の土層図の縮尺は 1/50で、土層および遺物の色調は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』を使用した。
- 5 本書図中の略記号は次のとおりである。  
堅穴建物：SI 挖立柱建物：SB 土坑：SK 溝跡：SD 井戸：SE 古墳：SZ  
柱穴：SP 性格不明遺構：SX トレンチ：T
- 6 本書中に表示した火山噴出物は次の略号で表示した。

As-A:浅間A軽石（1783年） As-Kk:浅間柏川テフラ（1128年） As-B:浅間B軽石（1108年） Hr-FP:榛名二ツ岳伊香保テフラ（6世紀中葉） Hr-FA（榛名二ツ岳テフラ（6世紀初頭） As-C:浅間C軽石（3世紀末～4世紀初頭） As-YP:浅間板鼻黄色テフラ（13-14k.y.BP） As-BP:浅間板鼻褐色テフラ（19-24k.y.BP）

## 目 次

### 序文 例言 凡例

1 確認・試掘調査一覧表	1
2 確認・試掘調査場所位置図	6
3 確認・試掘調査の概要	11
(1) R 2-4 下里見町字天神道上	11
(2) R 2-10 吉井町岩崎字上	12
(3) R 2-13 倉賀野町字丙下正六	13
(4) R 2-19 下滝町字高井前	14
(5) R 2-23 倉賀野町字丙下正六	15
(6) R 2-31 下佐野町字寺前	16
(7) R 2-33 吉井町片山字廣員戸	17
(8) R 2-38 柴崎町字蟹沢	18
(9) R 2-39 岩鼻町童宮	19
(10) R 2-41 下齊田町	20
(11) R 2-52 宮沢町	21
(12) R 2-60 高浜町	22
4 緊急発掘調査	23
(1) 保渡田八幡塚遺跡4次	23
(2) 本郷塚中古墳群	26
写真図版	
報告書抄録 奥付	

## 1・確認・試掘調査および立会調査一覧表

令和元年度試掘調査 捕遺分（令和2年1月1日～3月31日）

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m <sup>2</sup> )	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査結果	追査面 までの 深さ (cm)	備考
114（令和2年） 1月7日	井出田町字東下井出323	太陽光発電設備の設置	1210.00	322.4	・As-B下水田跡、段差 ・Hr-FA下水田面確認		1T・35 2T・40 3T・40	信重工事
115 1月8日	上京町字青瀬北原4003-60	太陽光発電設備の設置	2487.00	9.66	・追構、遺物なし			信重工事
116 1月9日	樋貴町字三反畠739-1、-2、-3、-5	郵便局舎建設	456.53	11.20	・追構、遺物なし			信重工事
117 1月14日 ～15日	三ツ子沢町字東向1182、119-2	太陽光発電設備の設置	9722.00	68.50	・追構なし ・風塵器焼		30	信重工事
118 1月16日	中居町一丁目16-16	集合住宅建設	429.91	8.00	・追構、遺物なし			信重工事
119 1月20日	高浜町字西869-1、3、863-6	太陽光発電設備の設置	4318.00	367.6	・区画塀、遺物なし		2T・60	工事立会
120 1月22日 ～23日	井野町字大門90-15-2、967-1、 -3、-4、968、969、990	特別養護老人ホーム建設	5773.88	163.92	・区画整理用土木材料、溝跡、 水・D下水田跡、ピット ・土師器、灰質陶器片		20-30	工事立会
121 1月27日	上里見町字東上神1978	太陽光発電設備の設置	1720.00	15.44	・追構、遺物なし			信重工事
122 1月28日	三ツ寺町字北64、66	寺院建替	5620.64	21.60	・重構なし ・土師器、風塵器片出土			信重工事
123 1月29日	黄鄭町赤地字愛970-2、8	太陽光発電設備の設置	1645.83	20.86	・追構、遺物なし			信重工事
124 1月30日	白新田町字谷22-1、2の一部	長桟住宅建設	608.92	11.60	・縄文前期土器、石劍片、 土師器片		70	信重工事
125 2月5日	八幡原町字大暮43-1	工場増築	59782.00	63.34	・As-B下の落ち込み、As-B 灰土塙		128-150	信重工事
126 2月6日	井野町字吉岡1215-1	民家住宅建設	612.16	24.80	・追構、遺物なし			信重工事
127 2月17 ～20日	白岩町字大門448	寺院建替	209.80	209.88	・本堂礎石			
128 2月18日	上京町字齊瀬南原4417-1、-4	太陽光発電設備の設置	6355.00	39.15	・ピット、縄文土器		1T・160	信重工事
129 2月20日	保渡田町字八幡坂1968番1の一部	個人住宅建設	500.00	44.25	・溝1条		68	発掘調査 794 保護田八幡坂 道路4K-23日
130 2月25日	萩原町100-1	工場新築建設	2000.00	26.51	・追構、遺物なし			包藏地外
131 2月26日	下里見町字北川原104-2他4筆、 113-1他2筆	道路改良工事	1587.30	349.1	・追構、遺物なし			包藏地外
132 3月3日	横高町字南八幡街道1422、1452、 143-1の一部、143-2の一部	店舗建設	965.00	38.97	・ピット、土壇、溝、堅穴建物 ・土師器、風塵器片出土		1T・東側105 2T・北側90	工事立会
133 3月4日	東貝沢町四丁目2-2	個人住宅兼事務所	568.21	16.10	As-B下水田		90-105	工事立会
134 3月5日	横高町字南八幡街道88-1、2、89-1 (コンビニエンスストア)	店舗建設	1368.53	41.30	・堅穴建物、土壇、ピット ・土師器、風塵器片		1T ・90-100 2T ・100-110	信重工事
135 3月9日	吉井町下奥平字社立200、294	太陽光発電設備の設置	1209.00	35.55	・ピット有り・縄文土器			信重工事
136 3月9日	吉井町下奥平字社立280	太陽光発電設備の設置	1999.00	61.88	・ピット、土壇、溝 ・火葬跡？・石器片		1T・60	信重工事
137 3月10日	吉井町岩崎字上203-1	太陽光発電設備の設置	1350.00	36.24	・追構なし・縄文土器片			信重工事
138 3月16日	福島町721-4、大八木町920-12	集合住宅建設	392.78	11.40	・追構、遺物なし			信重工事
139 3月17日	元鳥町字前ノ保1003-1他2筆 字内出前1406-1他7筆	調整池施設工事	2271.91	39.40	・井手川河床左岸 ・細胞施設部(近代?)			包藏地外

令和2年度試掘調査（4月1日～12月31日）

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m <sup>2</sup> )	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査結果	追査面 までの 深さ (cm)	備考
1 4月6日	上並柳町字岡908-1の一部	集合住宅建設	983.28	27.21	・土坑1基・土師器(10世紀?) ・小片が数点有り		80	信重工事
2 4月7日	八幡町字羅沙門866-1	個人住宅建設	487.00	11.40	・追構、遺物なし			信重工事
3 4月9日	倉賀町字葉栗前831-1、 832-1、835-1、831-1地先道路	宅地分譲	977.68	46.40	・ピット1基、溝2条、土坑1基 ・カワラケ(中世)2点		47	信重工事
4 4月15日	下里見町字天神前209-2	個人住宅建設	672.03	24.93	・堅穴建物1軒 ・埴輪、土師器片丟擲		45	工事立会 11頁
5 4月21日 ～22日	中里見町字猪ノ毛山2115-1	太陽光発電設備の設置	8891.00	132.40	・落ち込み、ピット2基 ・遺物なし		28	信重工事

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m <sup>2</sup> )	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査結果	遺構までの深さ (cm)	備考
6	4月23日	音谷町字村東20-47	宅地造成 (土地分譲28区画)	7629.43	205.75	・整穴建物2軒、土坑2基、 ピット4基、 ・須恵器高台付柄、サザン小片2点	1T・53 2T・57.80	発掘調査 325番台付柵 追跡6次
7	4月24日	下和田町二丁目575-4	下手中継ポンプ場建設	1507.71	824	道構、遺物なし ・馬糞の泥炭原土に立地		慎重工事
8	5月12日	寺尾町字F1179、1197-4、 1199-1、8、1201-2、1202-1、 1203-1、7	家族葬会館の建設	2046.00	23.10	・谷地形 ・須恵器小片		慎重工事
9	5月13日	引間町字小池1009-1・2・3・4	自動車洗車場建設	2496.00	30.30	・As-B 前段の轟2面、 As-B 前段上端、ピット ・古代土器類小片	1T・36 1T・36 2T・88	慎重工事
10	5月14日	吉井町岩崎字1322-1、 323-8-9、361-5-6-7	太陽光発電設備の設置	1218.16	5450	・円窓1基 (機械式石室、円筒埴輪片)		慎重工事 12頁
11	5月15日	本郷町字塚中559-6、560-5	個人住宅建設	388.92	2408	・古墳の周囲基盤、 ・強生中割土坑1基、ピット1基 ・土壟數點	1T・35-50 1T・35-50 2T・20	発掘調査 296番台塚中 追跡
12	5月18日 ～19日	倉賀野町字内下正六591、598	宅地造成	3792.00	121.57	・土坑2基、轟1基、ピット7基、 As-A 前段土坑2基		慎重工事
13	5月20日	倉賀野町字内下正六605-1 の一部	集合住宅建設	523.08	336.0	・古墳周囲 繩文期深溝断片	1T・93 2T・26 3T・39	工事立会 13頁
14	5月21日	上並木町字八坂153-1、4	診療所・調剤薬局建設	1373.00	40.70	・整穴建物4軒、轟2条、土坑4条、 ピット2条 ・強生、平安土器(轟)		慎重工事
15	6月2日	貝沢町字北4421、乙442、 443-2、443-1の一部	集合住宅建設	750.00	206.0	・整穴建物4軒、溝2条、土坑1基 ・強生～平安土器片(住居) ・古代土器片(土坑)	1T・45 2T・36 3T・41	慎重工事
16	6月3日	引間町字青木966-4	宅地造成	2879.00	61.52	・整穴建物跡4軒、ピット7基、 土坑2基、耕作痕(古代) ・土壟断片	35-40	発掘調査 809番台青木 追跡
17	6月4日	貝沢町字井野前3261-4、-5	集合住宅建設	590.26	12.06	・古代整穴建物跡4軒 ・土壟断片(古代)	54-64	慎重工事
18	6月15日	吉井町多比良上ノ原1285-1	太陽光発電設備の設置	1126.00	27.70	道構なし・瓦		慎重工事
19	6月25日	下溝町字タガイ前566-1	店舗建設	177.81	13.50	・整穴建物2軒、轟2条、 全壇に遺傳あり ・古墳前期、平安時代の遺物	1T・63-70 2T・70	慎重工事 14頁
20	7月1日	高岡町字前23-2、3	個人住宅建設	353.00	17.97	・古墳時代後半後期安土原1軒 ・古墳時代後期土壠跡、坪、 手括土器片	76	慎重工事
21	7月2日	福貴町1575-1の一部	個人住宅建設	355.00	14.80	道構、遺物なし		慎重工事
22	7月6日	倉賀野町字桃東1929-1、2	建完住宅建設(2棟)	472.72	16.70	・虎2条 ・土壟断片	60-76	慎重工事
23	7月7日	倉賀野町字丙西6-637-1	町内公民館建設	609.00	17.00	・溝1条、土坑1基 ・培土器(底の中より検出)	43-50	工事立会 15頁
24	7月9日	八幡町字二子98879-3	個人住宅建設	250.01	3.00	・道構なし・As-Aの復旧坑(1T) ・土壟断片1、埴輪片227		慎重工事
25	8月6日 ～7日	引間町字青木966-4他	宅地造成	5419.00	2336.62	・古代整穴建物跡4軒、轟9条、 ピット14基、土坑1基 ・平安時代羽正、須恵器蓋	3T・40-39 4T・50-57 5T・55-60 6T・44-60 7T・45-50 8T・40	発掘調査 809 引間町 追跡
26	7月20日	下之城町字北187-10	事務所兼住宅建設	303.48	15.63	・溝2条(時期不明)・遺物なし	80	慎重工事
27	7月21日	下佐野町字植荷原1024-1	個人住宅建設	493.07	2.43	・平安時代中期・古墳周囲 (古墳は佐野町1641号墳) ・細井坂志史1003番 ・土壟断片(うち羽正)	1T・30 2T・44	慎重工事
28	7月27日	石原町字毛無2570-3	個人住宅建設	333.61	2.00	道構なし・遺物隣地境界近くで 土壠跡、古墳丸片出土		慎重工事
29	8月6日 ～7日	引間町字小池951-1、952-2、954	宅地造成	2356.94	25.00	・ピット2条(時期不明) ・土壟断片1点	36	慎重工事
30	8月17日 ～19日	新町2330-40	新町防災体育館(仮称) 建設事業	18301.00	279.65	・建物基礎8、梁柱受け12、溝4、 壁2、鉄筋柱2、コントラクタ、柱頭柱底2、右抜 取1、礫石抜取1、礫石1、 建物抜取1(明治～昭和)	15-70	発掘調査 797 新町戸崎 追跡2次

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m <sup>2</sup> )	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査結果	遺構埋ままでの深さ (cm)	備考
31	8月26日	上佐野町字寺前526-1	個人住宅建設	315.00	17.15	・古墳周囲と思われる落ち込み	1T - 70-74 2T - 70-73	慎重工事 16頁
32	8月27日	福島町字諱口733-4	集合住宅建設	818.25	20.43	・道樋、遺物なし		慎重工事
33	9月3日	吉井町片山字旗貝P7 2545. 6. 2561	集合住宅建設	2340.51	73.70	・弊穴建物1軒、土坑5基、 ピット3基 ・平安時代丸瓦、土器片 トレンチ北半分は礎文遺物が 多く分布（縦文包含層）	1T - 44-45 2T - 38-44 3T - 28-30 4T - 23-36	慎重工事 17頁
34	9月7日	箕郷町原生原字井木407	宅地造成	2453.00	46.97	・道樋、遺物なし		慎重工事
35	9月8日	箕郷町和田山字和田106	和田山地区集会所 新築工事	452.00	34.61	・古墳1基、時期不明土坑1基、 縦文土器、土器器片、埴輪片	20.58	発掘調査
36	9月14日	大八木町字勝造寺521- 66-1. -2. -3	建売住宅建設	636.23	12.92	・弊穴建物3軒 ・土器器片	30	慎重工事
37	9月16日	萩原町100-1	工場貯水槽の新設（増築）	100.00	6.50	・As-A7水田	27	
38	9月17日 ～10月6日	安崎町字蟹沢586	宅地造成	1152.00	55.80	・古墳、埴輪4m <sup>2</sup> 四方、埴丘高 (引地表面から) 4.2m ・型土器片		18頁
39	10月12日	岩鼻町字竜宮300-5他6筆	個人住宅建設	335.97	20.02	・若奥1号墳周囲（外輪立ち上り） ・同内As-B7下黑色土 (水田部分)	65	慎重工事 19頁
40	10月13日	吉井町矢田字竜宮道6 9-3-1他	工場増築	6694.00	7.48	・近現代譜（鉄鋼）24条、ピット6基 ・土器器片		慎重工事
41	10月19日	下齊田町字前33-2	畠の表土入れ替え工事	778.00	34.80	・3条中世近世陶器（茶碗、 磁瓶）、宝鏡印塔、板碑	30	慎重工事 20頁
42	10月20日	八幡町字綱音保1041-2	個人住宅建設	297.00	9.26	・谷形、As-0壁石有り ・遺物なし		慎重工事
43	10月21日	新町2330-40	新町防災体育馆（仮称） 建設事業	2400	6.69	・建物基礎レンガ残存有り ・出土建物レンガ、陶器器片	10	発掘調査 79 新町戸崎 道路2次
44	10月22日	正岡寺町字前久保25-2 正岡寺町字天神入保230-5	配送センター改築	6709.77	22.40	・As-B水田、大堀確認 ・遺物なし		
45	10月26日 ～28日	阿久津町字上ノ台854-1他8筆	砂利採取	14410.00	394.91	・道樋なし、氾濫源の谷地形 ・土器器片		慎重工事
46	11月4日 ～5日	朝崎町字下小路819-1	宅地造成、集合住宅建設、 太陽光発電設備の設置	5084.00	184.20	・古墳7基（トレンチ内古墳4基、 その他の3基）、溝5条、土坑10基、 ピット2基、弊穴建物7軒 ・縦文土器、洗出土器、 土器器片、原生漆器片、大堀		
47	11月9日	下佐野町字稻荷596-1. -2. -3. -4	個人住宅建設	396.41	16.15	・ピット1基（時期不明） ・遺物なし		慎重工事
48	11月10日	下佐野町字稻穀1037-7	個人住宅建設	287.24	7.47	・古墳1基（縦文） ・縦文土器片、土器器片	46	慎重工事
49	11月11日	箕郷町和田山字天神前229-2. 235-1. -234-1	太陽光発電設備の設置	1376.00	69.35	・遺物なし ・土器片3点（時期不明）		慎重工事
50	11月12日	寺尾町字長坂1255-1	位牌堂建設	5128.82	863	・古墳周囲、中世窓穴状造構 ・埴輪片、中世遺物		
51	11月16日	朝崎町470-2. -3. -4	太陽光発電設備の設置	280.13	25.96	・弊穴建物2軒、土坑1基、 近世品1・彷彿破片4	1T - 57-103	慎重工事
52	11月17日	宮沢町字1344-1	太陽光発電設備の設置	1673.00	96.10	・土坑（縦文前2. 古墳以降） ・石割1. 縦文前朝土器片4	1T - 48-100	慎重工事 21頁
53	11月18日	栗崎町字宮前140-1. -2. 141-1. -4	グループホーム建設	5971.94	39.36	・As-B7水田、弊穴建物3軒、 土坑1基、溝2条、 ・古代土器器片、須恵器片2（7世紀）	74-78	慎重工事
54	11月19日	朝崎町字高H1149-1	個人住宅建設	685.39	13.14	・道樋なし ・土器器片2（7世紀）		慎重工事
55	11月24日	吉井町深沢字平地132-1	福祉施設建設	618.70	25.50	・古墳時代大型建物1軒、ピット6 基、土坑1基・土器器片要	1T - 60-90 2T - 57-62	工事立会 R2-T27
56	11月25日	八幡原町字北川久保456-1. -503	倉庫建設	1010.10	21.46	・古墳時代大型建物2軒 ・甕、高环、台付甕		慎重工事
57	11月26日	中京田町字荒神平5951	太陽光発電設備の設置	1229.53	33.25	・土坑落ち込み（時期不明） ・遺物なし		慎重工事

試査番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m²)	調査面積 (m²)	調査結果	追査面積までの深さ (cm)	備考
58	11月27日	吉井町馬庭字宮森235-2	個人住宅建設	384.82	1290	・整地層 ・近代、古代陶器片、古代瓦、 窓水道宝2枚		発掘調査 第2台引出履歴 道路
59	12月3日	十文字町宇上ノ原1060-3、6- 8、22、23	太陽光発電設備の設置	1275.00	43.70	・ビット (古墳時代以降4、以前3 基)、土坑1基 (古墳時代以降)、 調2基 (古墳時代以前)・遺物なし	1 T - 50- 103 3 T - 44	慎重工事
60	12月7日 ～8日	高浜町字北原1207-3	太陽光発電設備の設置	3890.00	2220	・整穴建物平安1、磯文1 (土地 かみ)、土坑5基、ビット3基・純文 土器、小形製石斧、埴輪片		22頁
61	12月10日	新保町字毛地北16、 字福原1569	テナント建設	596.55	1890	・道構、遺物なし		慎重工事
62	12月14日	箕郷町西明屋字明屋108-1	集合住宅建設 (3棟)	1603.00	3904	・古代末～中世耕作痕 ・埴輪片等数点出土		慎重工事
63	12月15日	下佐野町字植荷原602-1	個人住宅建設	355.13	504	・道構、遺物なし		慎重工事
64	12月16日	貝沢町字803-2、805-1の一部	集合住宅建設	604.00	43.10	・6条、ビット3基 ・古代土器部片		慎重工事
65	12月17日	上田町齊渡原北原4003-67	太陽光発電設備の設置	1835.00	38.72	・道構、遺物なし		慎重工事
66	12月21日	上中筋町字森貝1784-3-10	個人住宅建設	322.26	1458	・島 (江戸時代)、溝2条 (中伏?) ・遺物なし		慎重工事
67	12月21日	下齐田町字六563-1	個人住宅建設	436.56	1120	・古墳埋藏		発掘調査 814 下齐 田 天神山古 墳
68	12月22日	江木町字大日沖10994-1、2、3 1100-1、2、1102-1、2、3、6- 7、1103-10、1104-5	集合住宅建設	1224.67	25.76	・自然の谷地形。As-B混土とHr- FAが一部あり ・遺物なし		慎重工事
69	12月23日	下和田町一丁目1-4	個人住宅建設	212.02	935	・整穴建物1軒 (6世紀後半) ・土器部片 (整穴建物内)	130	発掘調査 815 下和 田 第一丁目遺 跡
70	12月24日	宮沢町字中原1802-5	工場・倉庫の建設	2626.63	101.40	・ビット4基、土坑2基 (純文時代 相当)		慎重工事

#### 令和元年度立会調査 捜索分 (令和2年1月1日～3月31日)

試査番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m²)	調査面積 (m²)	調査結果	追査面積までの深さ (cm)	備考
24	2月17日	台新町田字三反削376-1、3	掩埋設置	736.00	27.58	・不動山古墳の埋張		
25	3月9日	岩鼻町字天神20-1	携帯電話基地局設置	3.92	3.92	・道構、遺物なし		
26	3月11日	高浜町字西869-1、3、863-6	太陽光発電設備の設置	4318.00		・道構、遺物なし		

#### 令和2年度立会調査 (4月1日～12月31日)

試査番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m²)	調査面積 (m²)	調査結果	追査面積までの深さ (cm)	備考
1	4月14日	横高町字南八幡街道142-2、 145-2、143-1の一部、2-の一部	店舗建設	965.00	50.45	・整穴建物。溝、土坑、ビット ・土器部片、頸椎器片		
2	4月16日	上牧野町字舟崎118-1、117-1の一部	区画整理、給排水引込工事	227.00	63.66	・道構、遺物なし		
3	4月24日	下里見町字天神道上290-2	個人住宅建設	672.03		・柱状改良完了後にて道構確認は ははできず		
4	5月25日	高松町5-1、5-2	事務所新築		44.25	・道構面まで達せず		
5	6月9日	椎名町849	社殿保存修理工事	19.00	4.25	・東社礎石確認 〔立方体に加工した安山岩〕 ・塗付焼1点出土 (19世紀代か)		
6	6月16日	箕郷町富岡竹ノ内1728-3、-4	個人住宅建設	313.19		・道構、遺物なし		
7	6月23日	上並木町487-2、480-3	クリーニング・コインランドリーの店舗建設	1185.83	67.12	・道構、遺物なし		
8	7月2日	東国分町字集郎南190-13、 -14、-15	個人住宅建設 (浄化槽設置)					

試掘番号	調査日	所在地	開発内容	対象面積 (m <sup>2</sup> )	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査結果	遺構面までの深さ (cm)	備考
9	7月9日	寺尾町字東越25125	個人住宅建設 (浄化槽設置)	21963	3.84	・遺構なし ・鉛鉢片地2点		
10	7月16日	塙田町字東159-1、160-1	掘削工事	349.00	35.52	・遺構確認面にて掘削終了 ・土師器片(古代)		
11	7月17日	東貝沢町四丁目25-2	個人住宅および事務所建設	568.21	9.00	・平安時代水田 ・遺物なし	5281	
12	7月22日	中里町字根岸382	倉庫建設					
13	7月22日	白新田町字三反原330-1	複合住宅建設(3棟)	484.00	46.41			
14	7月16日 7月20日	元島名町字前久保1403-1他	調整池整造工事	2271.91		・遺構なし(井野川の氾濫原)		
15	7月30日	高浜町字上ノ代584	複合分譲住宅建設(5区画)			・遺構、遺物なし		
16	8月19日	金古町字町裏150-2	給水取出し工事	23.23	15.00	・土坑2基(A8e剥下以前) ・遺物なし		
17	8月20～ 21日、24 日	高松町5-2	事務所立普及工事に伴う 内水管(管)敷設工事	74.00	50.00	・高崎城跡、本丸堀の一部が ・遺物なし	200	
18	8月21日	朝崎町字長森西1345-1	グランドゴルフ場トイレ設置	4072.00	2600	・遺構、遺物なし		
19	8月27日	箕郷町下芝原352-1	宅地造成	1576.08	2600	・谷地形 ・出土遺物なし		
20	9月17日	倉賀野町字内下正6657-1	町内公民館建設	609.00	17.90	・遺構、遺物なし		
21-1	9月24日	下溝町字タガイ566-1	店舗新築 (グリストラップ埋設)	177.81	1.12	・構2基、S字縁渠の破片	75-80	
21-2	10月6日	下溝町字タガイ566-1	店舗新築 (グリストラップ埋設)		0.38	・遺構、遺物なし		
22	9月28日 ～29日	倉賀野町字内下正6655-1の一部	集合住宅建設(3棟)	522.00		・遺構、遺物なし		
23	10月26日 4.5	小八木町字業経寺3071-3. 4.-5	牛乳工場建設	15623.66		・遺構、遺物なし		
24	10月26日	下佐野町字道治風1094、1097	掘削工事	1341.31		・現状保存		
25	11月16日	正岡寺町字前久保25-2. 宇天神久保2305	配達センター改築	6709.77		・遺構なし ・保護層確保	30-59	
26	11月25日	緑貴町字余塚1220	掘削工事	1517.00	27.00	・As-B3以降請2条(古墳時代?) ・円筒埴輪片多数、瓶底器窓口 ・縁起片	30	
27	12月18 日～24日 1月4日	吉井町澤洋字平地132-1	福祉施設建設	618.76	151.00	・縫文堅穴、先史堅穴1軒、土坑1 基、古墳堅穴2軒、土坑1基、古 代土坑1基	31-40	

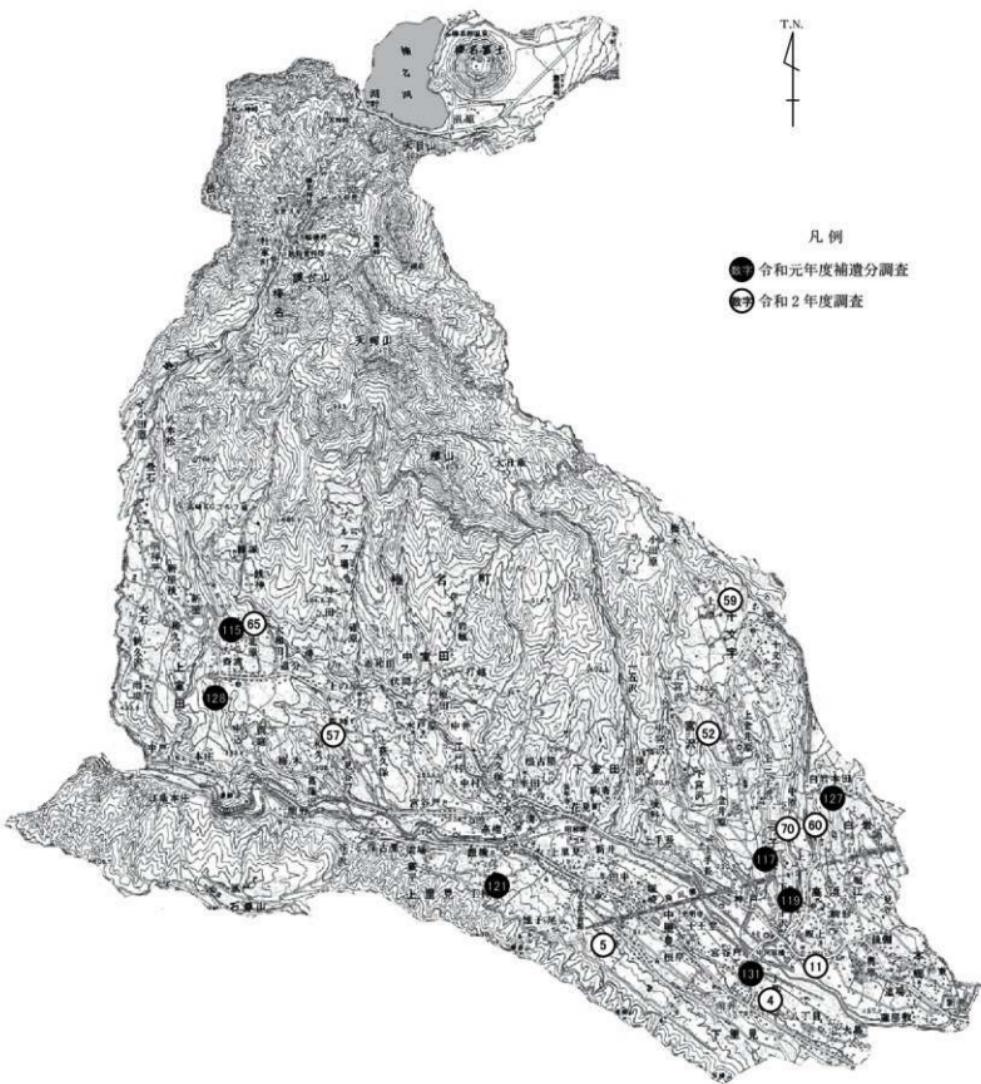
## 2 令和元年度補遺分および令和2年度確認・試掘調査場所位置図



※今回報告では倉渕地域に該当する調査は無し。

高崎市地域位置図 (1:360,000)

榛名地域



0 1:65000 2000m

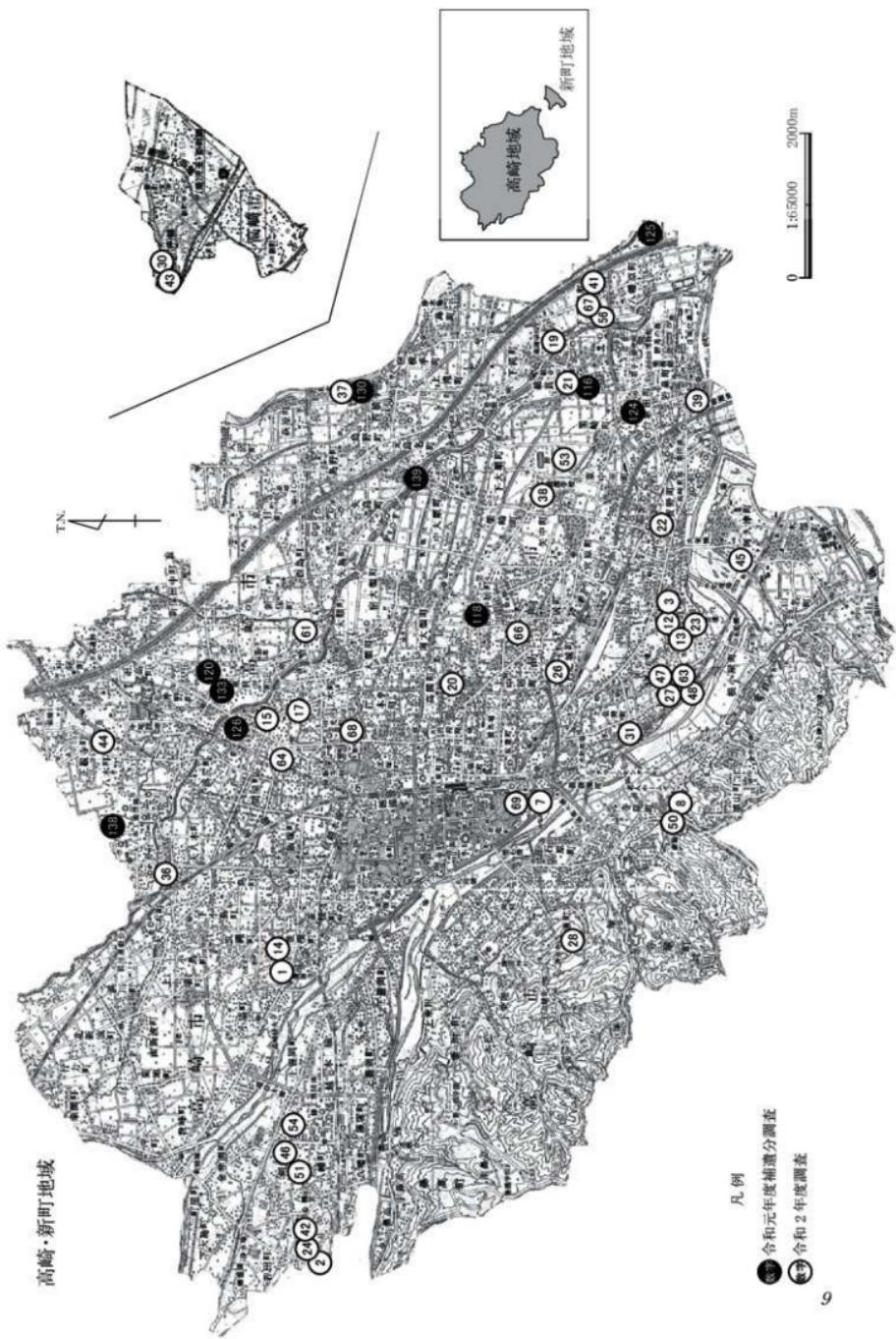


凡例

- 令和元年度補遺分調査
- 令和2年度調査

笑郷・群馬地域





## 吉井地域



### 凡例

0 1:65000 2000m

- 令和元年度補遺分調査
- 令和2年度調査

### 3 確認・試掘調査の概要

#### (1) R2-4 下里見町字天神道上

・調査日 令和2年4月15日

・調査内容

【環境】烏川右岸の段丘上に立地する。段丘南側は里見川が流れ、幅120m前後の台地を形成している。近隣地では古墳時代～平安時代の集落や墓跡が調査され、その下層には縄文～弥生時代の遺構も認められる。また周辺には天神道上古墳をはじめとした群集墳が形成され、里見Ⅲ古墳群天神通地区の支群として捉えられている。

#### 【結果】

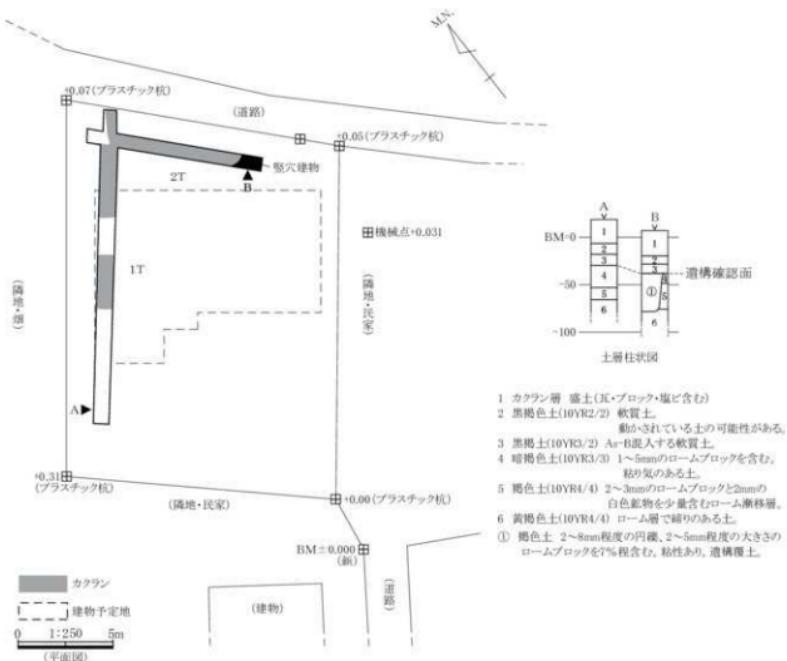
1 トレンチ 全体的に擾乱を受け、遺構の検出は

ない。調査区北西隅の敷地境界に礫の山があり古墳を想定したが、西側隣接地の耕作中に出土した石を境界に積んだものと判明した。このため、古墳跡の存在が当該畠地内に推定される（礫内に円筒埴輪を含む）。

2 トレンチ 垂穴建跡1軒を確認した。基本層序4層上面から掘り込み、基底部はローム層に達している。深さは40cm以上と想定する。



第1図 R2-4 調査区位置図



第2図 R2-4調査区平面図・土層柱状図

(2) R 2-10 吉井町岩崎字上

- ・調査日 令和2年5月14日
- ・調査内容

**【環境】** 鎌川右岸の下位段丘面の標高113～114mに立地する。調査地の300m東には申田川が南流し鎌川に合流している。対象地内には『上毛古墳綜覧』で古墳の所在が指摘される（岩平村2号墳322-1番地、円形、規模は50尺と記す）。また、北側には櫛文時代中期の香炉形土器が出土した東吹上遺跡があり、昭和52年市史跡に指定されている。

**【結果】**

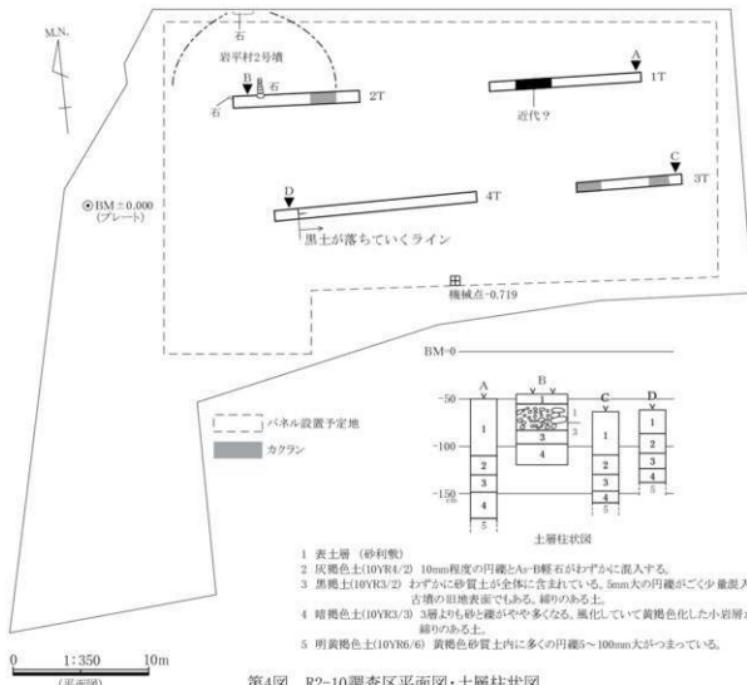
1 トレンチ 中央部で砂岩を構築材とした土坑(地下室?)を検出した。調査前に解体した近代の建物に伴う施設と想定する。

2 トレンチ 北西部で横穴式石室の一部を確認した。聞き取り調査では当該部分に屋敷神を祀った施設があり、周囲に石が集積されたようである。集積された石のなかには牛伏砂岩が含まれる。

4 トレンチ 遺構の確認はなかったが、標準層序3層中より、円筒埴輪片が20点出土している。



第3図 R2-10 調査区位置図



第4図 R2-10調査区平面図・土層柱状図

(3) R 2-13 倉賀野町字丙下正六

- ・調査日 令和2年5月20日
- ・調査内容

【環境】烏川左岸、北西から南東方向にのびる300m幅の台地上、標高82m前後に立地する。対象地の西80mには柏沢川が蛇行し南東方向へ流れる。周辺は正六古墳群として把握され、対象地隣接地には大型前方後円墳が存在し、東側に小鶴巻古墳(全長87.5m、5世紀後半築造)、その南には大鶴巻古墳(全長123m、4世紀末～5世紀初頭築造)がある。さらにその南では円墳19基、堅穴小石柱4基や、埴輪棺が確認された万福寺遺跡が立地する。

【結果】

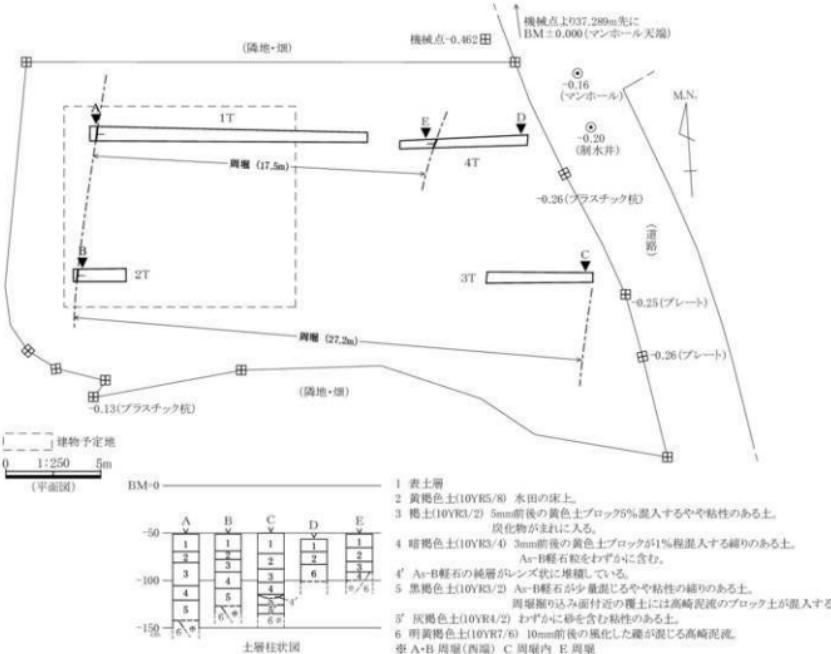
1・2トレンチ 小鶴巻古墳の前方部周囲の外側立ち上がりを確認した。

3・4トレンチ 小鶴巻古墳の前方部周囲の内側立ち上がりを確認した。

〔周囲〕 2・3トレンチ間で上幅27.2mを測る。深さは現地表から1mまで掘削し、掘削基底より35cm上位においてAs-Bの純堆積層を部分的に確認できた。1・4トレンチ間では17.5mを計測し、2・3トレンチに比べ幅が狭いが、4トレンチの位置が前方部北西端部につながる部分であり、土橋の存在も考慮しておきたい。過去に小鶴巻古墳の北側で行われた試掘調査の結果を踏まえると、本墳の周囲は一重であり、東西軸の全長は約120mと推定される。



第5図 R2-13 調査区位置図



第6図 R2-13調査区平面図・土層柱状図

(4) R 2-19 下滝町字高井前

- ・調査日 令和2年6月25日
- ・調査内容

【環境】井野川左岸に形成された上位段丘面、標高77m前後に立地する。周辺の遺跡相は古墳時代の大規模な集落や高密度で分布し、中世城館跡も確認されている。

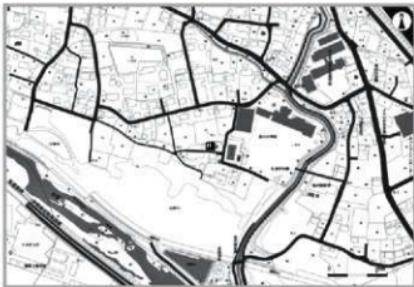
【結果】

〔基本層序〕遺構確認面は、4層上面で現地表下60cm前後にある。その下層には黄褐色の関東ローム層がある。

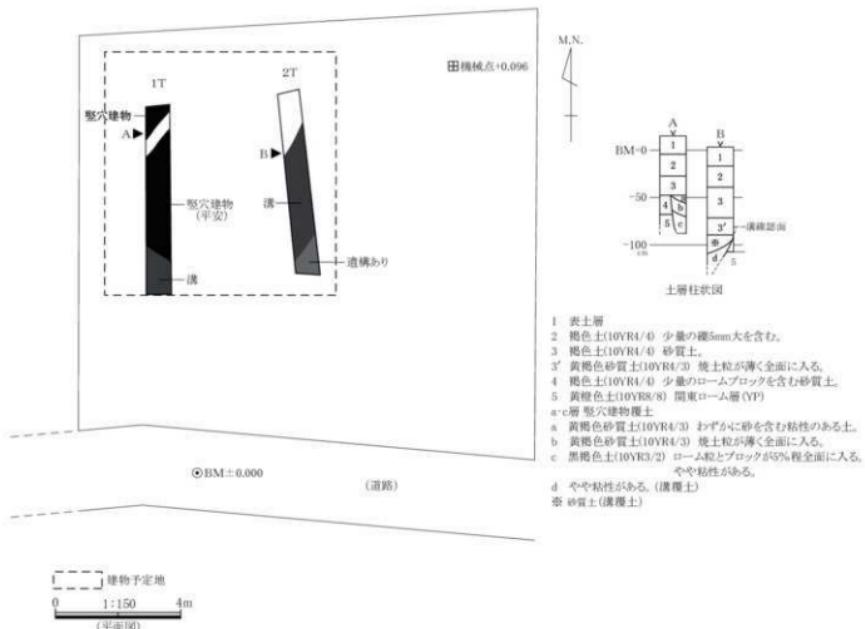
1 トレンチ 壑穴建物2軒を検出。このほか、壃穴建物の埋土を切り込む溝跡1条を確認した。現地表下120cm前後で湧水がみられる。

2 トレンチ 上幅3m、深さ70cm以上の溝跡を確認した。

〔出土品〕 古墳時代前期～平安期の土器が出土した。



第7図 R2-19 調査区位置図



第8図 R2-19調査区平面図・土層柱状図

(5) R 2-23 倉賀野町字丙下正六

- ・調査日 令和2年7月7日
- ・調査内容

【環境】高崎台地を解析して東南流する五貫堀川と稻沢川に挟まれた場所に立地する。標高は80m前後。調査地の北東には大鶴巻古墳（全長123m、4世紀末～5世紀初頭）があり、南側には万福寺遺跡が立地する。

【結果】

〔基本層序〕現地表下15～103cmで基盤層となる黄褐色の高崎泥流となる。地形は、北から南方向へ大きく傾斜をしている。

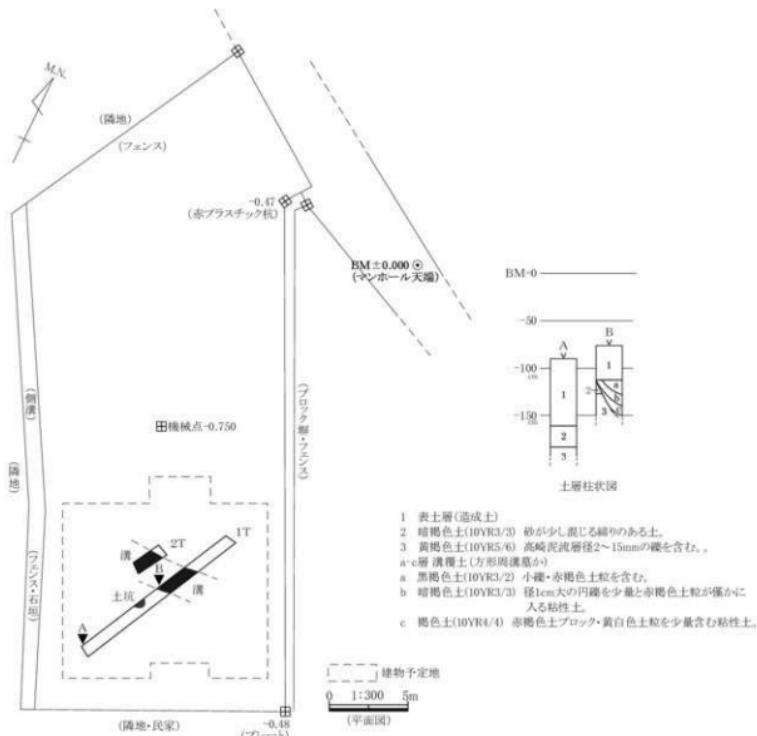
1トレンチ 上幅2m、深さ40cm以上の溝跡1条と、直径70cmの土坑1基を確認した。

2トレンチ 溝跡を確認。1トレンチ検出の溝跡が続くと推定する。

〔出土品〕溝跡から古墳前期の土師器が出土した。溝跡の状況から方形周溝墓の一部と考えられる。



第9図 R2-23 調査区位置図



第10図 R2-23調査区平面図・土層柱状図

(6) R 2-31 上佐野町字寺前

- ・調査日 令和2年8月26日
- ・調査内容

【環境】烏川左岸の段丘上、標高90mに立地する。上越新幹線建設に伴い調査が行われ、縄文～近世の遺構・遺物が確認されて、複合遺跡として捉えられている。調査対象地の東約50mには、6世紀後半築造の漆山古墳（前方後円墳）が所在し、周辺には約80基の群集墳が形成されている。

【結果】

(基本層序)現地表下70cmにある6層(黄褐色のローム漸移層)上面で行う。後述する古墳の周堀覆土に、As-Bの堆積を認めた。

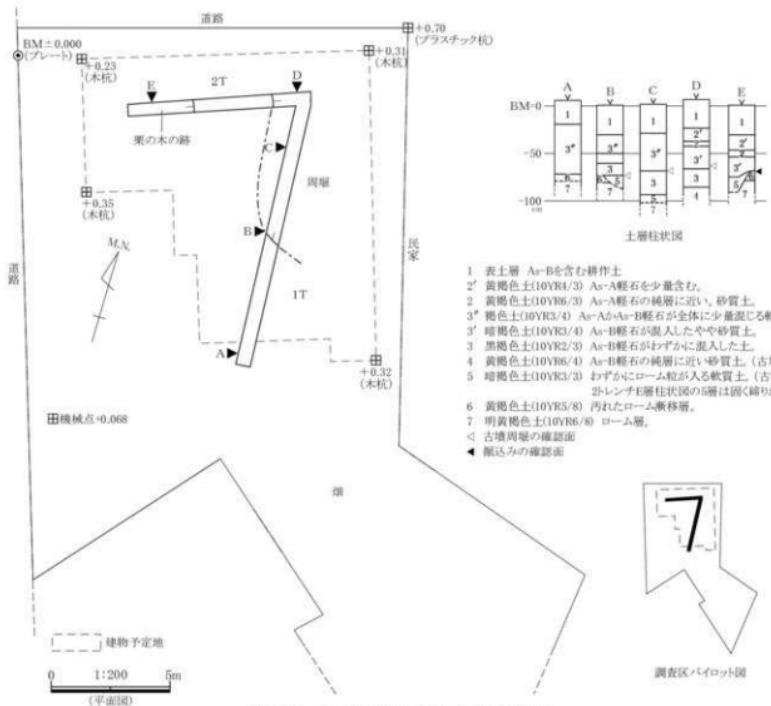
1 トレント 南から北方向の落ち込みを確認。覆土はロームが混じる暗褐色土が主体で、その上層にAs-Bが混じる土が堆積する。

2 トレント 西から東方向の落ち込みを確認。現地表下96cmでAs-B純層の堆積を認める。

両トレントで確認された落ち込みはつながり、溝状となる。調査地北東に隣接し、「上毛古墳総覧」に記載される「佐野村21号墳」があり、確認された溝跡はこの古墳の周堀と想定できる。



第11図 R2-31 調査区位置図



第12図 R2-31調査区平面図・土層柱状図

(7) R 2-33 吉井町片山字廣貝戸

・調査日 令和2年9月3日

・調査内容

【環境】鏡川右岸の段丘上にあり、標高は119mに立地する。調査地西側には、古墳～平安時代の集落が調査されており、古墳前期（片山1号墳）～後期の古墳も確認されている。また、調査地の西隣接地は平成30年度に試掘確認調査が行われ、古代の堅穴建物等が確認されている。

【結果】

〔基本層序〕表土下約20cmにある2層（暗褐色土）とその下層となる3層（ローム漸移層）上面で遺構確認を行う。

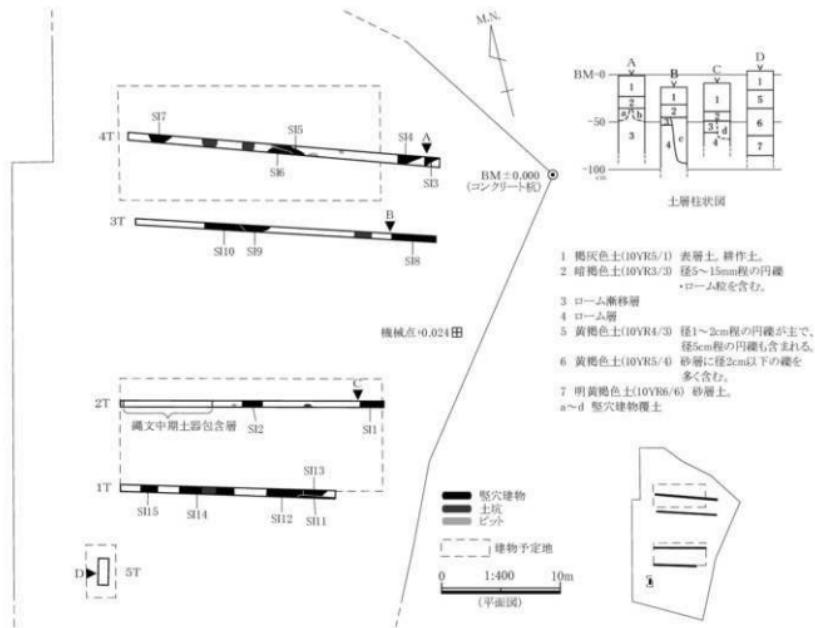
- 1 レンチ 堅穴建物跡5軒、土坑1基を確認。
- 2 レンチ 堅穴建物跡2軒、土坑・ピット各1基、縄文中期の遺物包含層を検出した。
- 3 レンチ 堅穴建物跡3軒、土坑1基を確認。
- 4 レンチ 堅穴建物跡5軒、土坑・ピット各2基を確認。
- 5 レンチ 遺構は検出されていない。

〔出土品〕2トレンチで縄文中期の土器片が出土。1～4トレンチでは平安時代の土師器・須恵器片のほか、古代瓦片も認められた。

〔所見〕調査対象地には、古代を中心とした集落が展開し、一部下層には縄文期の遺構がある。



第13図 R2-33 調査区位置図



第14図 R2-33調査区平面図・土層柱状図

(8) R 2-38 柴崎町字蟹沢

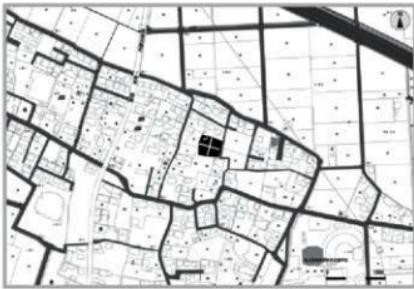
- ・調査期間 令和2年9月17日～10月7日
- ・調査内容

【環境】井野川の支流である柏川右岸の台地上、標高82m前後に立地する。調査対象地には古墳があり、浅間山古墳（『上毛古墳綜覧』「群馬郡大類村第17号 浅間山」・「No654」〔新編高崎市史〕資料編直径20m、方墳の可能性を指摘）として登録されている。また、本墳の30～40m西には、正始元年銘の三角縁神獣鏡を出土した柴崎蟹沢古墳の存在も知られている。

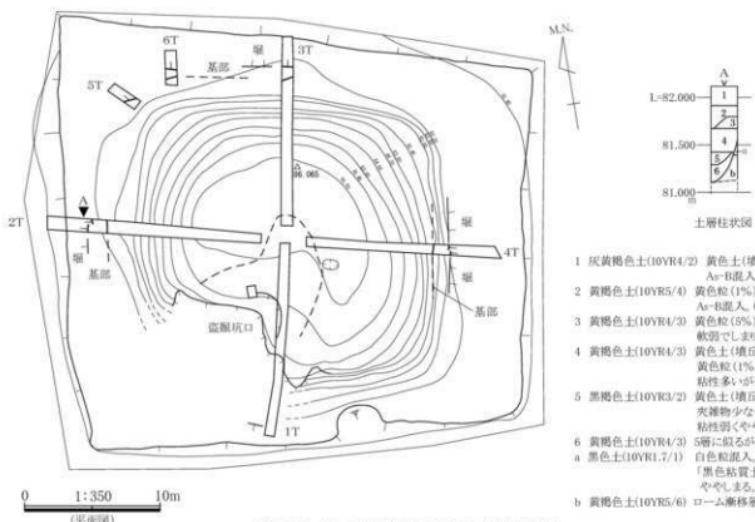
【結果】

〔墳丘および外部施設〕

- (1) 墳形 方墳 等高線測量図墳丘北西部の調査区（5T 6T）の状況から判断した。
- (2) 墳長 25.2m（東西方向の調査区（2T- 4T）の測量に基づく）
  - ・墳丘南辺は削られるが、南北軸で現況24mを測る。
- (3) 墳丘高 42m（地山推定面から墳長部最高点の高さ）
- (4) 周堀 墳丘裾から50～70cmの平坦面があり、約50度の角度でローム層まで掘り込む。
- (5) 舟石 なし
- (埋葬施設)
  - (1) 墳頂部中央および南西部で盗掘坑を確認。聞き取り調査から、盗掘坑はL字状につながっていた
  - (2) 墓擴 検出に至っていない。盗掘坑で掘り込まれた部分も想定されるが、墳丘下位の範囲にあると推定する。
- (出土品)
  - ・周堀内より土師器壺（古墳前期）数点が出土。



第15図 R2-38 調査区位置図



第16図 R2-38調査区平面図・土層柱状図

(9) R 2-39 岩鼻町竜宮

・調査日 令和2年10月12日

・調査内容

【環境】 烏川左岸の高崎台地上、標高75m前後に立地する。調査地の南隣接地には古墳(「岩鼻1号墳」「上毛古墳綜覧」)が所在し、地割の一部にその痕跡を残している。

【結果】

(基本層序) 現地地表下60~80cmにある黄色味のある粘性土上面(7層)で確認した。

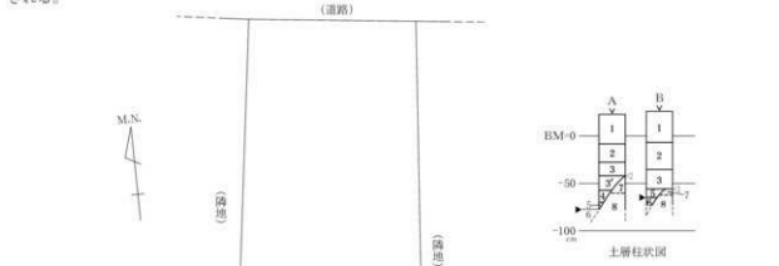
1 トレンチ 北から南へ落ち込む溝を確認した。遺構確認面から15cm下位でAs-Bの純層(層厚約4cm)を確認した。

2 トレンチ 北から南へ落ち込む溝を確認した。遺構確認面でAs-B(層厚約5cm)を確認した。

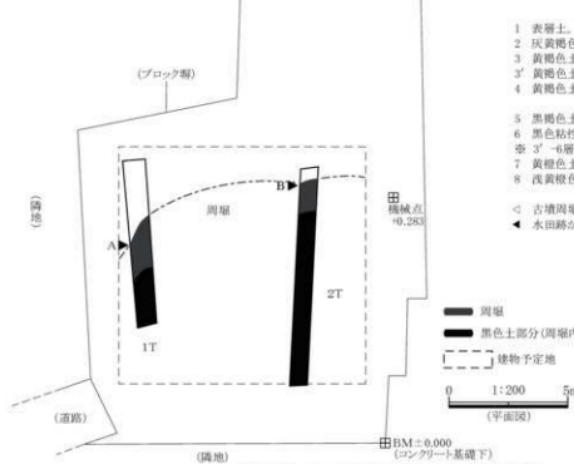
〔所見〕 確認した溝跡は、岩鼻1号墳の周堀で、その北側立ち上がり部と想定する。このほか、周堀内にAs-Bが堆積し、その直下には黒色粘性土が水平に認められる。畦畔の検出はないが、古墳の周堀を利用した水田耕作も想定される。



第17図 R2-39 調査区位置図



- 1 表層土。
  - 2 灰黃褐色土(10YR4/2) 軟質。
  - 3 黃褐色土(10YR5/4) しめりがあり、やや粘性。
  - 3' 黃褐色土(10YR5/4) 3層にAs-B軽石が少量入る。
  - 4 黄褐色土(10YR4/3) 白色粘土、As-B軽石が混入するしめりのある土。
  - 5 黑褐色土(10YR3/1) As-B軽石純層。
  - 6 黑色粘性土(10YR7/1)
  - 7 黄褐色土(10YR6/4) 粘性土。
  - 8 浅黄褐色土(10YR8/4) しめりのある粘土。  
(所謂白色粘土)
- △ 古墳周堀確認面  
◀ 水田跡か(As-B下 黒色粘性土)



第18図 R2-39調査区平面図・土層柱状図

(10) R 2-41 下斎田町字前

・調査日 令和2年10月19日

・調査内容

【環境】 井野川左岸に形成された微高地から低地への変換点にあり、標高76m前後に立地する。調査地周辺の微高地には、古墳前期の集落や墓跡が調査され、低地にはAs-B直下の水田跡が広く発見されている。また、水田下には、7世紀以降の溝跡が確認される部分もある。

【結果】

〔基本層序〕 現地表下30cmにある、白褐色の粘質土上面で遺構確認を行う。

〔確認した遺構〕

1号溝 上幅5~5.5m、深さ15mの規模で、断面「箱型研形」を呈する。1・2号トレンチの両方で確認し、延長で15mを測る。覆土はAs-B主体の褐色灰色土。

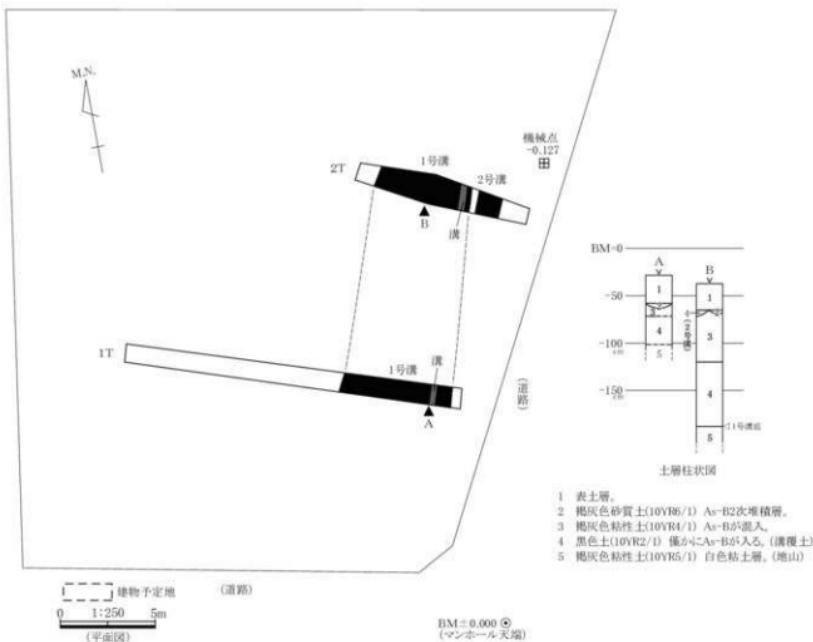
2号溝 上幅14m、深さ10cmの規模で、1号溝の東側に接続する。

〔出土品〕 中世後期の石造物(宝篋印塔基部片、板碑片)や、近世陶器器ほか、木製品が出土している。

〔所見〕 調査地の西100mには下斎田城の本郭があり、今回検出された溝跡は、その外郭と考えられる(山崎一氏の繩張り図に基づく)。年代は中世後半に構築され、江戸後期まで存続したと考えられる。



第19図 R2-41 調査区位置図



第20図 R2-41調査区平面図・土層柱状図

(11) R 2-52 宮沢町字上金井原

・調査日 令和2年11月17日

・調査内容

【環境】株名山南麓の十文字台地上、標高310m前後に立地する。台地の表面は北から南方向への緩斜面地（概ね3度以下）となり、対象地の東側は、頸無川によって深く削刻されている。周辺での調査事例は少ないが、岡谷戸遺跡では、縄文時代中期の集落が確認されている。

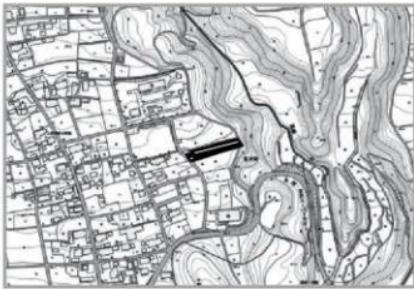
【結果】

〔基本層序〕浅間山噴出由来のAs-B、As-C純堆積層を確認。基底は明黄褐色のローム層。

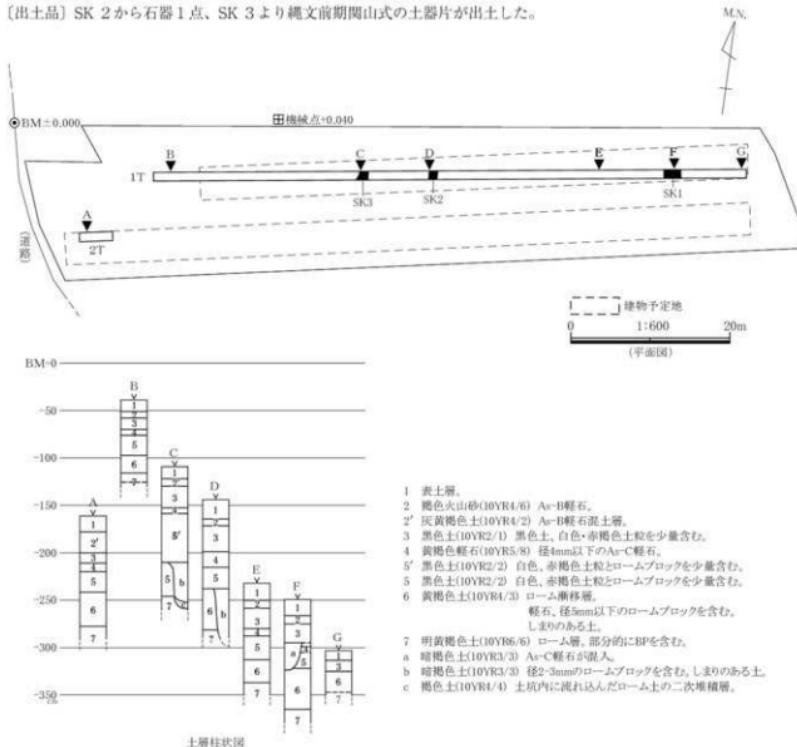
〔確認した遺構〕

1 トレンチ 土坑3基（SK 1 長さ22mの方形プラン：古墳時代以降、SK 2 長さ18mの楕円形プラン：縄文前期、SK 3 長さ120×0.9m以上の楕円形プラン：縄文前期）

〔出土品〕SK 2 から石器1点、SK 3 より縄文前期開山式の土器片が出土した。



第21図 R2-52 調査区位置図



第22図 R2-52調査区平面図・土層柱状図

(12) R 2-60 高浜町字北原

・調査期間 令和2年12月7～8日  
・調査内容

【環境】標高山南麓の十文字台地上、黒澤川と見立川に挟まれた標高240m前後に立地する。台地の表面は北西から南東方向への緩斜面地で、見立川河床面との比高差は15mを測る。見立川を隔てた白岩町大字大門では、縄文時代の堅穴建物などが確認されている。

【結果】

(基本層序) テフラは、As-B (2層)、As-C (4層) を認め、現地表下約1mで、ローム層となる。

[確認した遺構]

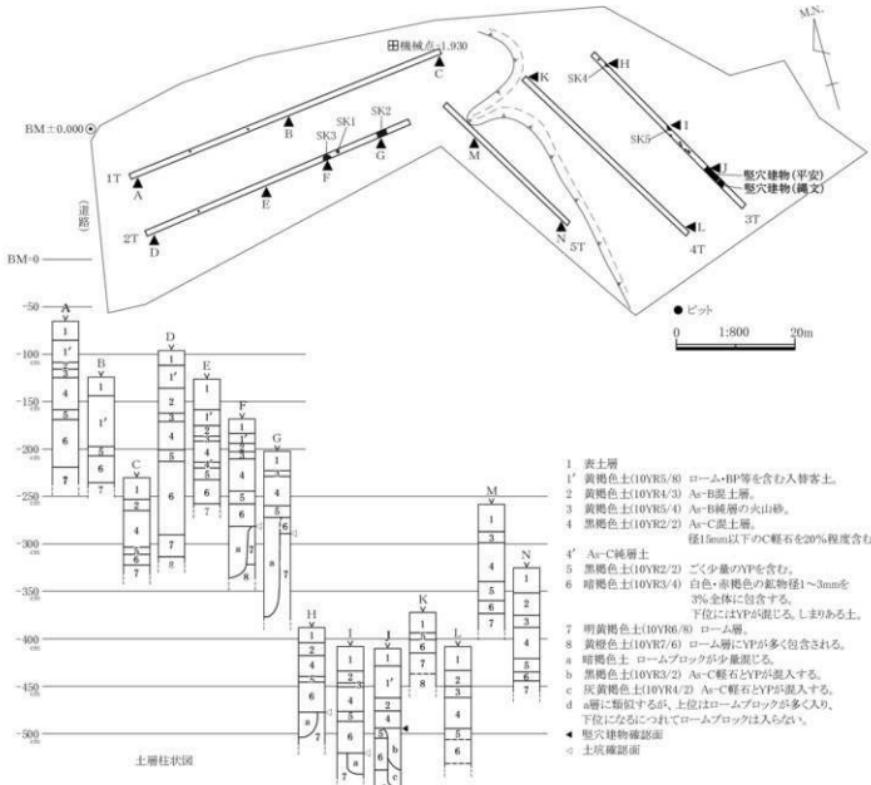
2トレンチ 土坑3基検出。SK1、2は縄文時代中期に比定。

3トレンチ 堅穴建物2軒検出。重複関係があり、縄文時代中期の堅穴を平安期の堅穴建物が切っている。

[出土品] 2トレンチで、縄文土器中期の土器片が出土。3トレンチの堅穴建物で縄文中期および平安期の土器片が出土。また、同トレンチSK 5から、小型の磨製石斧1点が出土している。



第23図 R2-60 調査区位置図



第24図 R2-60調査区平面図・土層柱状図

#### 4.緊急発掘調査

- (1) 保渡田八幡塚遺跡4次（遺跡番号794）
  - ・所在地 高崎市保渡田町字八幡塚1968-1
  - ・事業内容 個人専用住宅の建設
  - ・調査期間 令和2年4月13日～4月17日
  - ・調査にいたる経緯

令和2年1月、土地所有者と工事主体者より、保渡田町において個人住宅の建築を計画しており、対象地における埋蔵文化財の照会が市教育委員会文化財保護課（以下、「市教委」と略す）にあった。対象地は周囲の埋蔵文化財包蔵地あり、開発に際し取り扱いの事前協議が必要と回答した。これを受け令和2年2月10日付けで埋蔵文化財試掘調査申込書が提出された。試掘調査は令和2年2月20

日に実施し、遺構を確認した。その後、埋蔵文化財の保存にかかる協議を事業者と市教委で行ったが、現状保存は困難であり、記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなった。

- ・遺跡の立地と環境

樅名山東南麓に展開する「相馬ヶ原扇状地」の扇端部にある。この地帯は、扇状地に源をもつ中小河川が複雑に解析し崖線を形成している。遺跡地はそのひとつである井野川中流域の左岸にあたり、標高133.1mに立地する。対象地西隣接地には、国史跡の保渡田八幡塚古墳があり、その外堤の東40mに調査地がある。

・基本層序 1、2層はAs-Bを混じ砂質で軟弱な土で、江戸後期以降の層位となる。3層はHr-FAを混じる灰黄褐色土で、古墳時代後期～平安末期の層位となる。4層はHr-FAユニット、5層はAs-Cを混じる黒色土で、6層の黒色粘質土→7層のローム漸移層が堆積する。

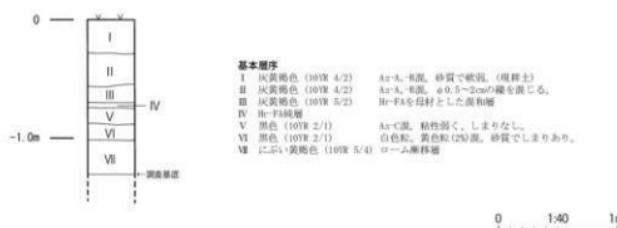
- ・検出した遺構と遺物

SK 1 上幅東西2.3m、南北は調査区外に伸び現況で70cmを調査した。東西に長い長方形プランで、壁面は50～80度の角度で掘り込み。基底面はローム漸移層まで掘り込み、As-Cを混じる黒色土が堆積する。その上層にはAs-Bが20～30cmの厚さで堆積（ユニットが確認できる）し、上位に桃色の追分火砕流が10cm堆積する。遺物の出土はないが、層位から平安後期から末期の所産か。

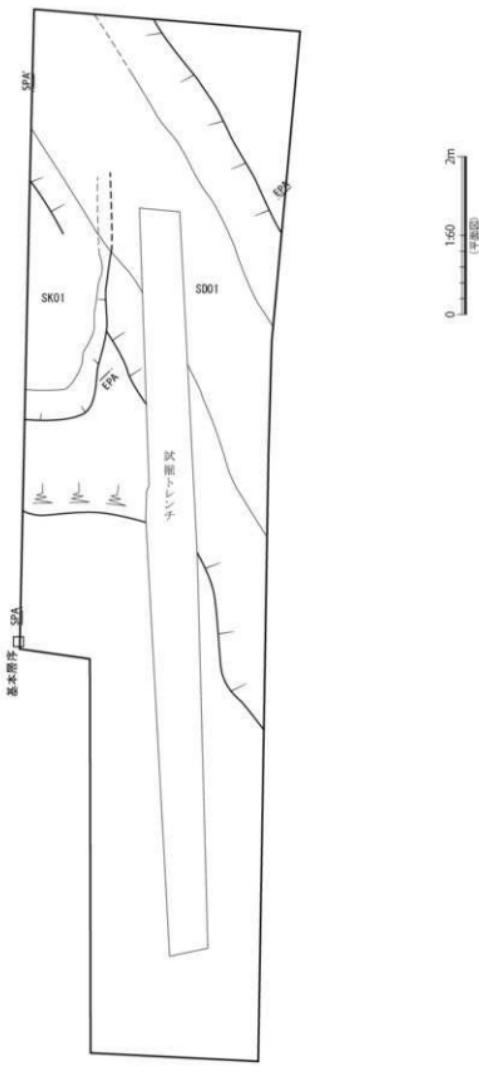
SD 1 上幅2.4m、基底部幅1.3mで断面箱形を呈し、北東～南西に主軸が向く。埋土はAs-B主体の砂質土で、埋没途中に硬化面はない。遺物の出土はないが、層位から中世の所産か。



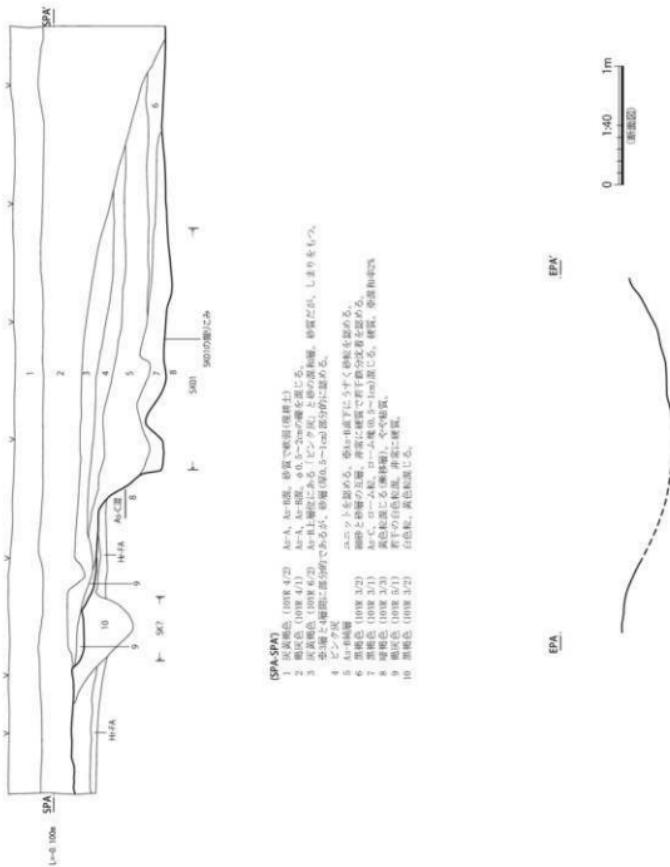
第25図 保渡田八幡塚遺跡4次 調査区位置図



第26図 保渡田八幡塚遺跡4次 土層柱状図



第27図 保渡田八幡塚遺跡4次 調査区平面図



第28図 保渡田八幡塚遺跡 4 次 断面図・エレベーション図

(2) 本郷塚中古墳群（遺跡番号796）

- ・所在地 高崎市権名町本郷
- ・事業内容 個人専用住宅の建設
- ・調査期間 令和2年5月15日（試掘）  
令和2年5月21日～6月4日
- ・調査にいたる経緯

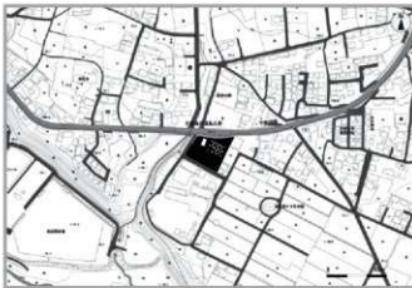
令和2年3月下旬、土地所有者と工事主体者より、権名町本郷において個人住宅の建築を計画しており、対象地における埋蔵文化財の照会が市教育委員会文化財保護課（以下、「市教委」と略す）にあった。対象地は周知の埋蔵文化財包蔵地であり、開発に際し取り扱いの事前協議が必要と回答した。

これを受け令和2年4月27日付けで埋蔵文化財試掘調査申込書が提出された。試掘調査は令和2

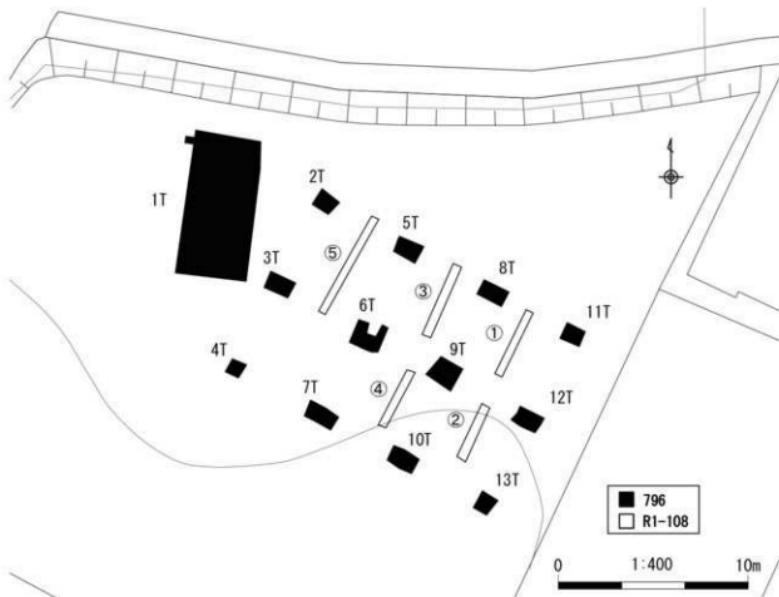
年5月15日に実施し、遺構を確認した。その後、埋蔵文化財の保存にかかる協議を事業者と市教委で行ったが、現状保存は困難であり、記録保存を目的とした発掘調査を実施することとなった。

・遺跡の立地と環境

権名山南麓の烏川左岸、本郷台地上の標高173m前後に立地する。本郷塚中古墳群として把握される群集墳の北西端部にあり、烏川に合流する谷地形が西側に接する。昭和40年代に土地改良事業によって発掘調査され、70～80基からなると推定され、その築造年代は7世紀前半から末とする。



第29図 本郷塚中古墳群 調査区位置図



第30図 本郷塚中古墳群 調査区平面図

・検出した遺構と遺物

試掘調査の結果を受けて実施した記録保存を目的とした発掘調査では、古墳の埋葬主体部や周溝の一部などの遺構を検出した。今回の調査成果を検討するにあたって、過年度に実施した東隣接地の調査成果の一部を抜粋して掲載する。

1 トレンチ

1号古墳 (SZ 1)

調査地東辺で検出した。調査区内では周堀のみの確認でき、南北で7.45m・東西1.35m分を調査した。深さは1.05mで、標準層序V層のローム層まで掘り込む。基底部から45cm上位に厚さ30cmでAs-B純層が堆積する。覆土下位の黒色系土から土師器壺3個体分が出土している。年代は7世紀前半～後半。

2号古墳 (SZ 2)

調査地の北端で検出した。調査区内では、横穴式石室（掘り方を含む）以外、関連遺構は認められず、周堀を持たない可能性が高い。

【主体部】両袖型横穴式石室で、主軸はN-179°-Eを向く。石室上部は掘平を受け側壁上部や天井部の構造は不明で、玄室・羨道とも根石のみ残る。石室計測値は、全長（調査区内）241m、玄室長（調査区内）5.8m、玄室幅0.91m、羨道長0.98m、羨道幅0.73mである。石室の壁体構造は自然石乱石積みで、輝石安山岩の転石を用いる。

【掘り方・地形】前庭部は搅乱を受け、その状況は不明ながら長方形を呈す。掘り込みは、基本層序2層の黒色粘質土まで行い、基底部は平坦につくる。その後、径10～20cmの礫を1～2石用い薄い地業を行う。

【床面】地形の礫を3～4cm径の礫で被覆し床面をつくる。これに対し羨道部はやや大ぶりな10cm径を中心とした礫を使用する。

【裏込め】掘り方と壁材間（幅30～45cm）に、20～30cm径の礫を充填させる。土は混入せず、礫間の空間には5～10cm径の礫で埋める。

【出土遺物】

羨道部から土師器壺が2個体分出土している（第38図No.08）。丸底で口縁部が短く内屈する形状で、7世紀後半に位置づけられる。No.9～12は1トレンチ内出土。9は土師器高杯脚部で底径10.4cm。10・11は弥生中期の土器片。12は打製石斧（残存長12.6cm）。

2～13トレンチ

2～13までの各トレンチのうち、遺構が確認できたのは2・3・7・9～11トレンチである。

2トレンチ（2T）では、As-B輕石に覆われた礫多数を検出した。埋葬主体部を検出した3トレンチの北側にあたることから、当該古墳の葺石の一部と判断した。

3トレンチ（3T）では、古墳の横穴式石室の一部を確認した。表土層を除去するとすぐさま礫の検出があり、石室の西側壁および裏込め石が残存していることが確かめられた。羨道部の西側壁は、概ね3段が残存していた。玄門には扁平な楕円形の自然石を直立させて門柱石とする。また、門柱石からは側壁が西側へと屈折するため、袖を有する形態の横穴式石室であることが確実視される。袖付近の底面に敷かれたやや大振りで扁平な礫は舗石と考えられ、北側の玄室内部へと続くことが期待される。玄室は調査区外となるが、調査区北壁の断面を観察すると、舗石様の扁平な礫の上部に小規模な礫が看取されることから、玄室内部に礫床が残存している可能性が考えられる。

7トレンチ（7T）では、人頭大の礫多数が検出された。トレンチ内東側にやや弧を描くように並ぶことから、古墳に伴う葺石の根石列と推測している。断面の観察より、礫列の西側にはAs-Bが混入し、東側には含まれないことが確認でき、礫列の西側は墳丘外部、東側が墳丘内部であったと推定されることと符号する。

9トレンチ（9T）では、小規模な石槽を検出した。人頭大の扁平な円礫と拳大の小礫により構成されているが、調査では両者が混在して検出されているため、本来の形状が失われた可能性がある。

10トレンチ（10T）では、30～40cmほどの自然礫を並べる複数の礫列を確認した。南北に並ぶ礫列は、各礫は若干重なり合うように、直立させて地面に埋め込まれて設置される。南北の礫列には傾斜が見られ、北に向かってレベルが上がる。また、東西の礫列は長手方向を南面させて並べている。トレンチ東半分はカクランが顕著で礫列について明瞭にし難い。

11トレンチ（11T）では、30～40cmの大振りの礫を多数検出した。礫の隙間や下部より須恵器大甕の破片が一定量出土する。当初は古墳の石室を想定していたが、礫そのものに規則的な配置が見出せず、須恵器大甕片の出土状況から当該遺構が原位置を留めないものと判断される。

#### 【R 1-108】

過年度の調査において、5本のトレンチを設定し試掘を行った。その結果、4トレンチ（④）において、円筒埴輪4本がやや湾曲した列をなす様相を確認した。また、円筒埴輪列の北西側には葺石と想定される礫が検出されている。また、5トレンチ（⑤）では、4～5石の礫が並んだ状態で検出された。葺石根石の礫列となることが考えられる。

上記の本郷塚中古墳群調査（796）およびR 1-108試掘調査の各トレンチの状況から、2基の古墳および1基の小石槨を確認した。

#### 1号古墳（SZ 1）

有袖の横穴式石室を埋葬主体部に持つ。横穴式石室は西側壁の一部の確認に留まるが、輝石安山岩の自然石乱石積みで、玄門に直立する門柱石を設置する。漢道西壁の傾きから、石室主軸はN-154°-Wと考えられる。7世紀末～8世紀代と推定される。

#### 3号古墳（SZ 3）

本古墳群中では例が少ない埴輪を樹立した古墳である。埋葬主体部については不明だが、墳丘南面に開口部を持つことが想定されるため、横穴式石室であった可能性が高い。

以上、各調査を通して、円墳3基、小石槨1基、ピット・土坑をそれぞれ検出した。1、2号古墳は横穴式石室を主体部に持ち、石室や遺物の様相から7世紀後半以降の築造が想定される。2号古墳の横穴式石室については、両袖であることが判明したが、1号古墳の石室については、西側壁の一部を検出したのみであるため、東側の袖部については不明である。しかし、本古墳群で横穴式石室と判断される主体部のうち、片袖の石室はいまだ確認されていないため、1号古墳の石室についても両袖の横穴式石室であった蓋然性は高い。

3号墳は、2条3段の円筒埴輪列を巡らしており、埴輪の樹立が確認された古墳としては本郷奥原古墳群では21号墳に統いて2基目となる。3号墳の主体部については明らかにできていないが横穴式石室であった可能性を考えられるため、本墳は21号墳よりは後出であろう。横穴式石室が採用されるが、墳丘への埴輪樹立が存続する段階の築造と捉えておきたい。

そのほか、墳丘や主体部等、遺構そのものを確認していないが、11トレンチの様相から、調査地の北東に未確認の古墳が存在した可能性が示唆される。

なお、いずれの古墳も昭和13年刊行の上毛古墳総覧（以下、「総覧」）に記載されていない。1、3号古墳については、椎名町誌掲載の奥原古墳群の古墳番号（以下、「椎名町」）および平成29年度刊行の古墳総合調査（以下、「総合調査」）では、1号古墳（椎名町104、総合調査1230）および3号古墳（椎名町105、総合調査1216）がそれぞれ対応すると考えられる。2号古墳については既知の古墳でなく、椎名町誌も総合調査も記載がない。なお、調査地北東に想定される未確認の古墳は椎名町106、古墳総合調査1231と考えられる。

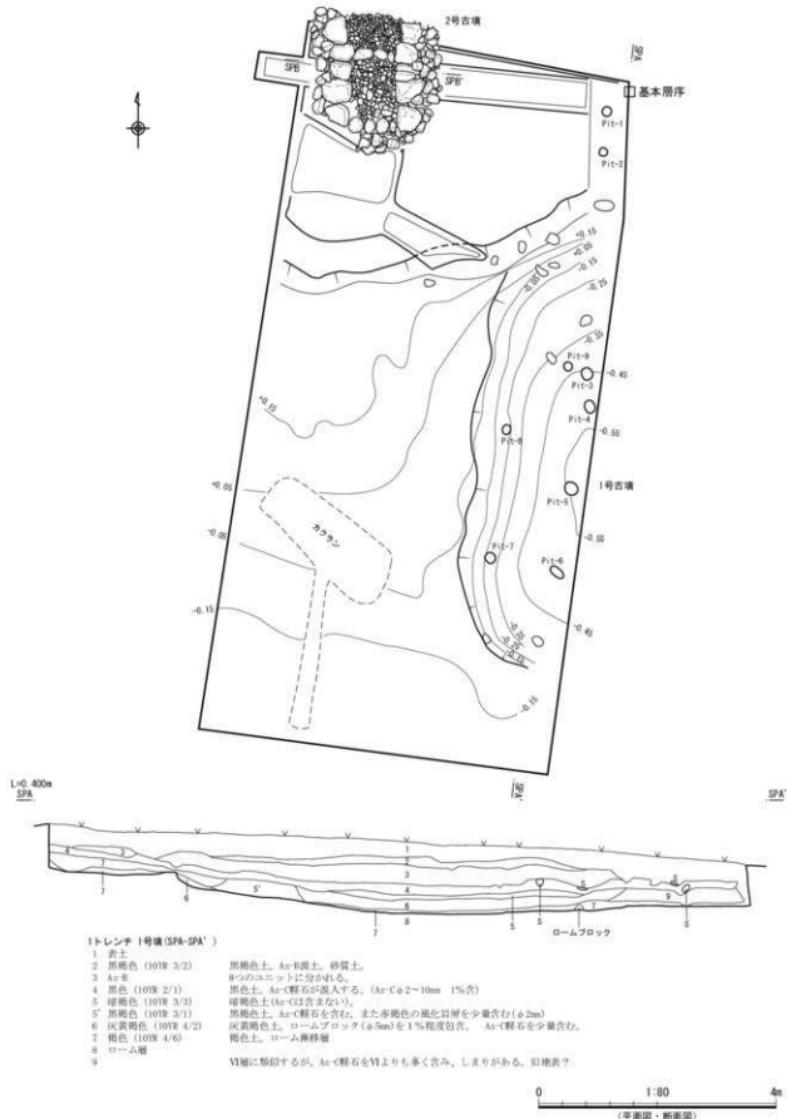
#### 〔出土遺物〕

第38図1～4は2条の円筒埴輪で、底径11.7～13.2cmを測る。突帯は「ダレた台形」を呈し、円形の透孔がある。色調は橙を基調とし、石英・蛭石、少量のシャモットを胎土に含む。

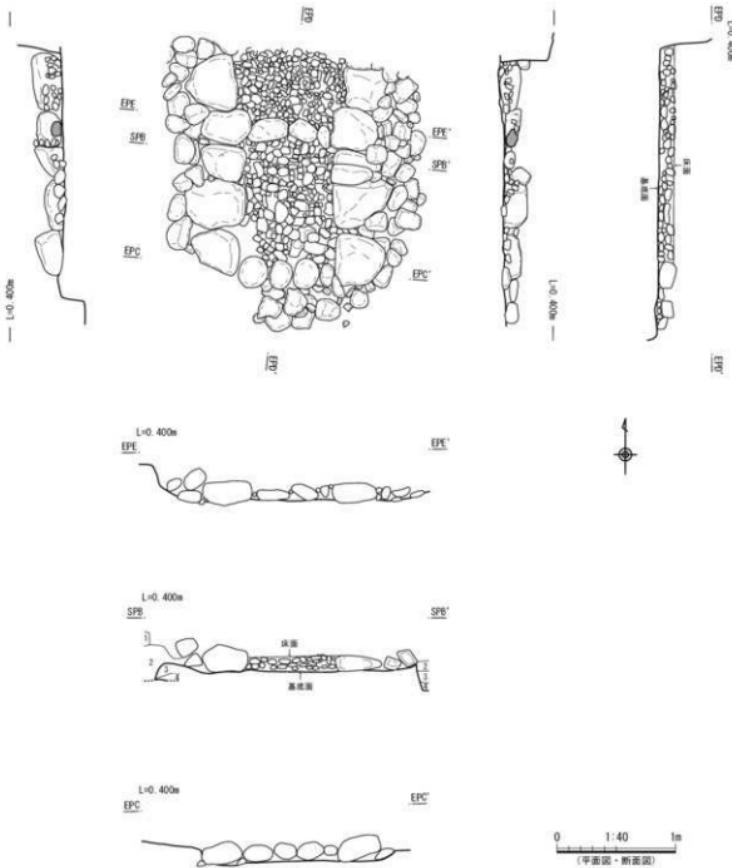
5・6は、須恵器甕の破片。7は須恵器高台坏で口径17.9cmを測り、胎土に黑色粒子を含む



第31図 本郷塚中古墳群 土層柱状図



第32図 1トレンチ 平面図・断面図

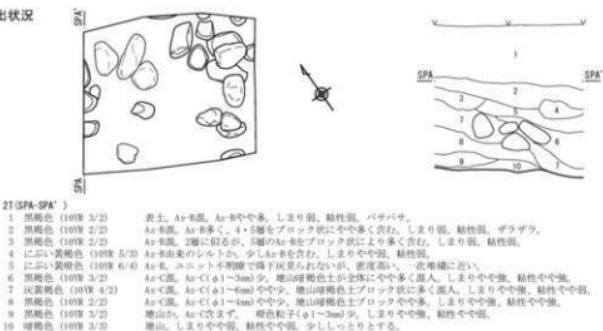


トレンチ 2号墳 (SPB-SPB')

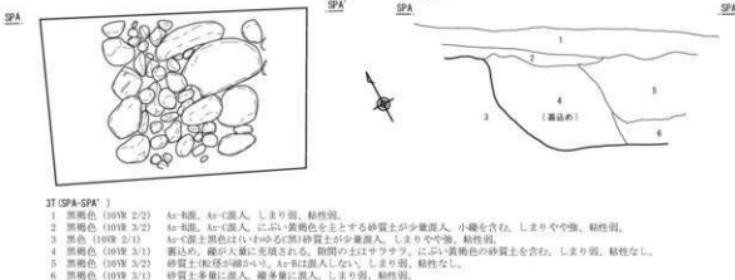
- 1 深灰色 (10W 4/1)
- 2 黒色 (10W 2/1) 茎下の黄色粒。白色粘膜。やや粘質。しまりあり。
- 3 にぶい黄褐色 (10W 4/3) 茎下の黄色粒。白色粘膜。やや粘質。
- 4 にぶい黄褐色 (10W 4/3) 細移層。やや粘質。

第33図 1トレンチ 2号古墳 石室展開図

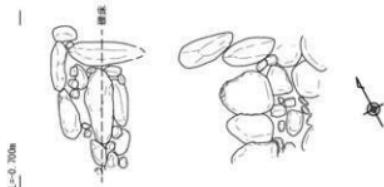
### 2T 確検出状況



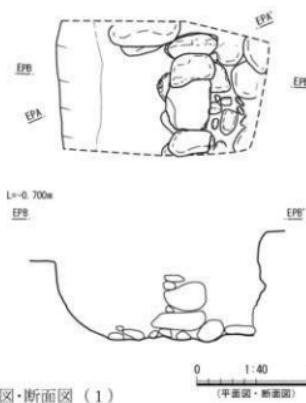
### 3T 確検出状況



### 3T 石室展開図

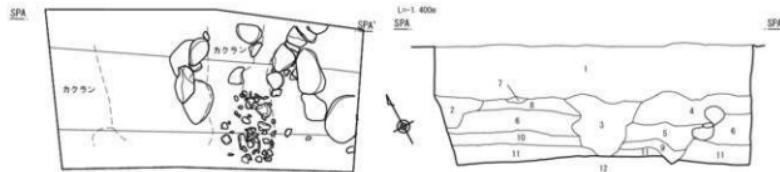


### 3T 石室平面図

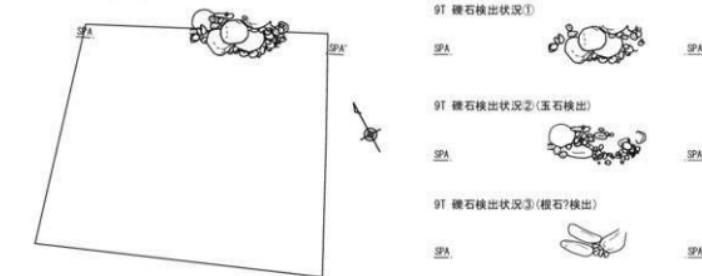


第34図 2-3トレチ 平面図・断面図 (1)

### 7T 碳石検出状況①

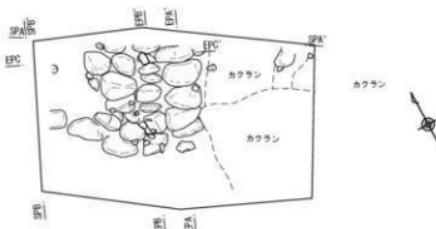


### 9T 碳石検出状況①～③

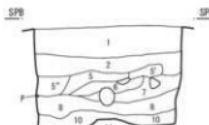
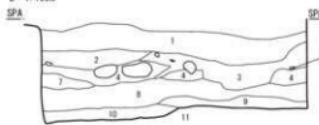


第35図 7・9トレンチ 平面図・断面図（2）

10T 平面図



L=1, 700m

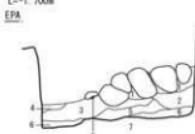


10T (SPA-SPA', SPB-SPB')

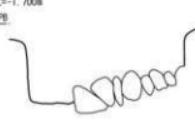
- 1 黒褐色 (10YR 2/2)
  - 2 黑褐色 (10YR 3/2)
  - 3 黑褐色 (10YR 3/2)
  - 4 黑褐色 (10YR 2/2)
  - 5 灰黃褐色 (10YR 4/2)
  - 6 灰黃褐色 (10YR 4/2)
  - 7 灰褐色 (10YR 2/2)
  - 8 黑褐色 (10YR 2/2)
  - 9 黑褐色 (10YR 2/2)
  - 10 黑褐色 (10YR 2/2)
  - 11 墓褐色 (10YR 3/2)
- 表土。Ar-h, R層。Ar-hや少。Ar-hや少。しまり強。粘性弱。ザラザラ。  
Ar-h, 地層。Ar-hプロック状に多。Ar-hや少。しまり強。粘性弱。  
底層層か。Ar-C(φ1~3mm)多く。堆山褐色土ブロックや少。  
地層褐色土まだらに多。堆山褐色土ブロックや少。しまりやや強。粘性やや弱。  
堆山まだら。堆山褐色土ブロックまだらに多。しまり強。粘性やや弱。  
Ar-C層。Ar-C層を多く含む。しまりやや強。粘性やや強。  
Ar-C層。小ブロックや少。しまりやや強。粘性やや強。  
Ar-C層。Ar-C(φ1~4cm)や少。しまり強。粘性やや強。  
Ar-C層。Ar-C(φ1~7cm)まだらにやや多。しまり強。粘性やや弱。  
Ar-C層。Ar-C(φ1~7cm)少。褐色粘子(φ1~5cm)少。しまり強。粘性やや強。  
Ar-C含まず。褐色粘子(φ1~3cm)少。しまり強。粘性やや強。  
堆山。しまり強。粘性やや強。

堆層少

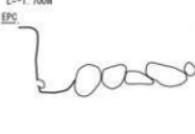
L=1, 700m



L=1, 700m



L=1, 700m



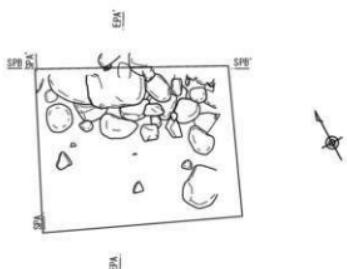
10T (EPA-EPA')

- 1 黒褐色 (10YR 3/2)
  - 2 黑色 (10YR 2/1)
  - 3 黑褐色 (10YR 3/2)
  - 4 黑褐色 (10YR 3/2)
  - 5 黑褐色 (10YR 2/2)
  - 6 黑褐色 (10YR 2/2)
  - 7 墓褐色 (10YR 3/2)
- Ar-C(φ1~3mm)ごく多く。堆山褐色土ブロックや少。  
Ar-C層。Ar-C(φ1~5cm)や少。堆山褐色土少。しまり強。粘性やや弱。  
Ar-C層。Ar-C(φ1~5cm)や少。堆山褐色土少。しまり強。粘性やや弱。  
Ar-C含まず。堆山褐色土ブロックや少。しまり強。粘性弱。少しあとづきする。  
Ar-C層。Ar-C(φ1~3cm)少。褐色粘子(φ1~3cm)少。しまり強。粘性やや強。  
Ar-C含まず。褐色粘子(φ1~5cm)少。堆山褐色土少。しまり強。粘性やや弱。  
堆山。褐色粘子(φ1~2cm)ごく少。しまり強。粘性やや強。

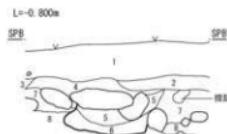
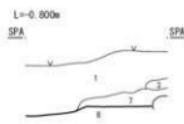
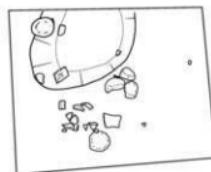
0 1:40 1m  
(平面図・断面図)

第36図 10トレンチ 平面図・断面図 (3)

11T 平面図①



11T 平面図②

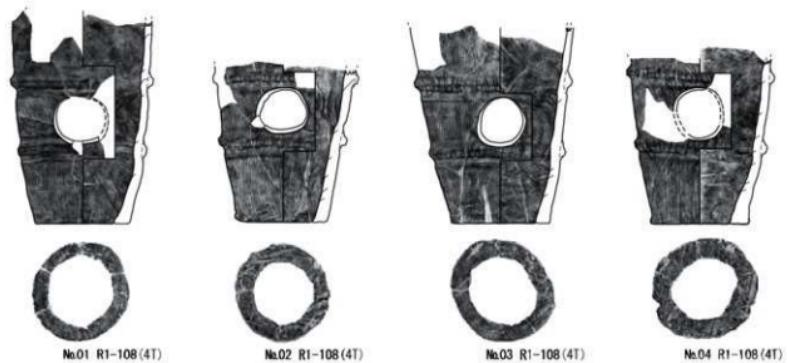


0 1:40 1m  
(平面図・断面図)

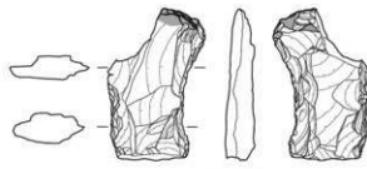
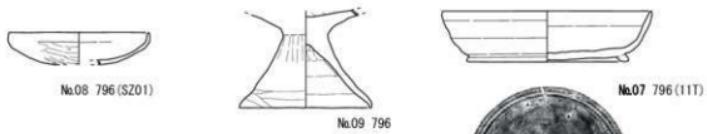
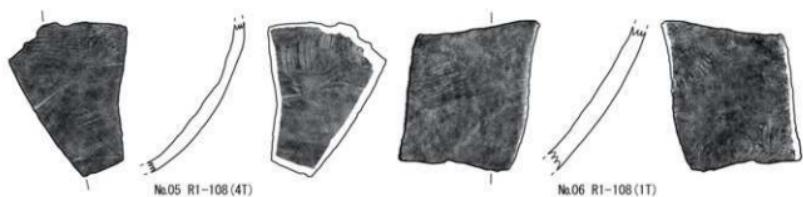
11T (SPA-SPA', SPB-SPB', EPA-EPA')

- 1 黒褐色 (10YR 3/2) 粗粒黄土。軽石を含む。
- 2 黑褐色 (10YR 3/2) 黄褐色の砂層。軽石のプロックが含まれる。しまり弱い。粘性なし。
- 3 黑褐色 (10YR 3/2) 1層に類似するが、軽石の混入少ない。しまり弱い。粘性なし。
- 4 黑褐色 (10YR 3/1) 2層に類似するが、軽石の混入ない。しまり弱い。粘性なし。
- 5 黑色 (10YR 2/1) 粒子細かい黒色土だが、しまり弱く、サクサクしている。
- 6 墓褐色 (10YR 3/3) 軽石を含む。堆山の黄褐色プロックも混入。しまりなし。
- 7 黑褐色 (10YR 2/2)  $\phi 1\sim5\text{mm}$ 程度の軽石を含む。混入量やや多い。しまりあり。粘性なし。
- 8 黑褐色 (10YR 3/2)  $\phi 1\sim5\text{mm}$ 程度の軽石を含むが、混入量やや少ない。しまりあり。粘性なし。

第37図 11トレンチ 平面図・断面図 (4)

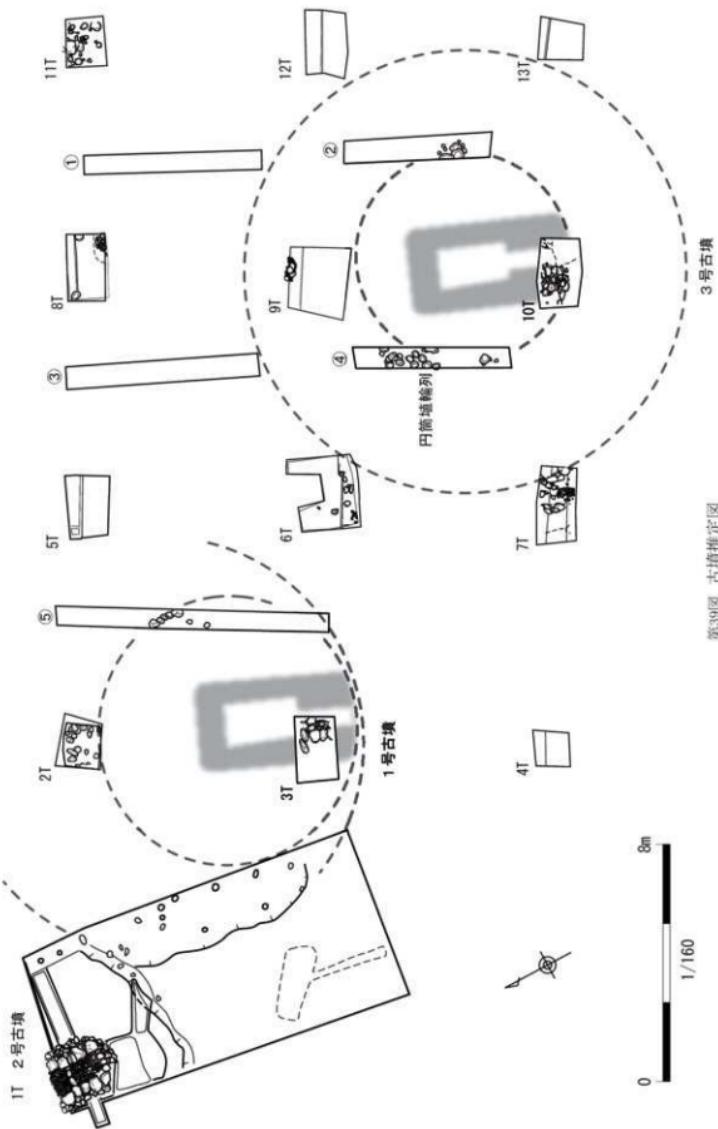


0 1:6 20cm  
(円筒埴輪)



0 1:4 10cm  
(遺物図)

第38図 各調査出土遺物実測図



第39圖 古墳推定圖



R2-4 下里見1トレ全景(東→)



R2-13 倉賀野町1トレ全景(西→)



R2-23 倉賀野町1トレ全景(東→)



R2-31 上佐野町1トレ全景(南→)



R2-33 吉井町2トレ(東→)



R2-39 岩鼻町1トレ(南→)



R2-41 下齊田町1トレ(東→)



R2-52 宮沢町1トレ(西→)



R2-60 高浜町3トレ(北→)

PL 2



R2-10 吉井町 2トレ 石室検出状況(南→)



R2-19 下滝町 1トレ全景(北→)



R2-38 柴崎町蟹沢 全景(北東→)



R2-38 柴崎町蟹沢 基本土層



保渡田八幡塚遺跡4次 溝検出状況(東→)



保渡田八幡塚遺跡4次 埋土堆積状況(南東→)



R1-108 4T 塙輪列確認状況(東→)



R1-108 5T 積列確認状況(東→)



796 1T 1号古墳周堀確認状況(南→)



796 1T 2号古墳主体部検出状況(西→)



R796 1T 2号古墳主体部完掘状況(南→)



796 1T 2号古墳主体部完掘状況(西→)



796 1T 2号古墳主体部完掘状況(東→)



796 1T 2号古墳主体部完掘状況(北→)



796 2T 碓検出状況(南→)



796 2T 西壁セクション(東→)

PL 4



796 3T 主体部検出状況(南西→)



796 3T 主体部検出状況(西→)



796 3T 裏込め石検出状況(南→)



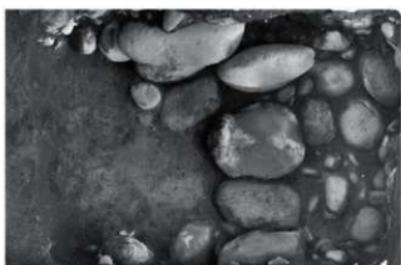
796 3T 裏込め石除去状況(南→)



796 3T 主体部3段石検出状況(南西→)



796 3T 主体部2段石検出状況(北西→)



796 3T 主体部最下段(1段目)検出状況(南西→)



796 3T 主体部玄門検出状況(西→)



796 3T 主体部西側壁根石検出状況(南東一)



796 3T 主体部掘り方検出状況(南西一)



796 7T 碓検出状況(南一)



796 7T 碓列検出状況(南一)



796 9T 小石梆検出状況(南一)



796 9T 小石梆調査状況(南一)



796 9T 小石梆調査状況(南一)



796 9T 小石梆調査状況(南一)

PL 6



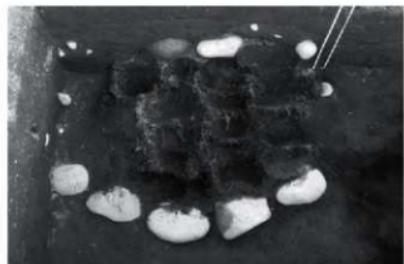
796 10T 石列検出状況(南一)



796 10T 石列検出状況(南西一)



796 10T 石列検出状況(南東→)



796 10T 碓除去状況(南→)



796 11T 碓検出状況(南→)



796 11T 調査状況(南→)



796 11T 遺物出土状況(東→)



796 11T 遺物出土状況(北→)



No.01 R1-108 (4T)



No.02 R1-108 (4T)



No.03 R1-108 (4T)



No.04 R1-108 (4T)



No.05 R1-108 (4T)



No.06 R1-108 (1T)



No.08 796 (SZ01)



No.09 796



No.07 796 (11T)



No.010 796



No.011 796



No.012 796

## 抄 錄

ふりがな	れいわねんどしないいせき
書名	令和2年度市内遺跡
副書名	確認・試掘調査 緊急発掘調査報告
卷次	
シリーズ名	高崎市文化財調査報告書
シリーズ番号	第456集
編著者名	清水豊 山本ジェームズ
編集機関	高崎市教育委員会
所在地	〒370-8501 群馬県高崎市高松町35-1番地
発行年月日	令和3年3月26日

所収遺跡名	ふりがな 所在	コード	北緯	東經	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村 遺跡番号					
保渡田八幡塚 遺跡4次	高崎市保渡田町 1968-1	102024	794	36° 22' 50.20"	138° 59' 12.90"	2020.4.13 ～ 2020.4.17	39m <sup>2</sup> 個人住宅 建築
本郷塚中古墳群	高崎市本郷町 字塚中	102024	796	36° 21' 56.84"	138° 55' 47.05"	2020.5.21 ～ 2020.6.4	72m <sup>2</sup> 個人住宅 建築

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
保渡田八幡塚 遺跡4次	集落	古墳～中世	土坑・溝跡	土師器・須恵器片	
本郷塚中古墳群	墳墓	縄文前期～ 古墳後期	円墳・土坑	縄文～弥生土器・石器、 須恵器・埴輪片	

高崎市文化財調査報告書第456集

### 令和2年度市内遺跡 確認・試掘調査 緊急発掘調査報告

2021（令和3）年3月15日印刷  
2021（令和3）年3月26日発行

編集・発行／高崎市教育委員会文化財保護課

群馬県高崎市高松町35-1番地

電話 027（321）1292（直通）

印 刷／上武印刷株式会社